

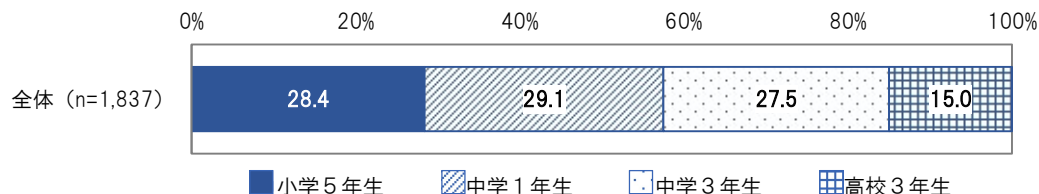
IV 小学生・中学生・高校生アンケート調査結果

1. 回答者の属性

(1) 学年

問 あなたの学年はどれですか。(〇は1つだけ)

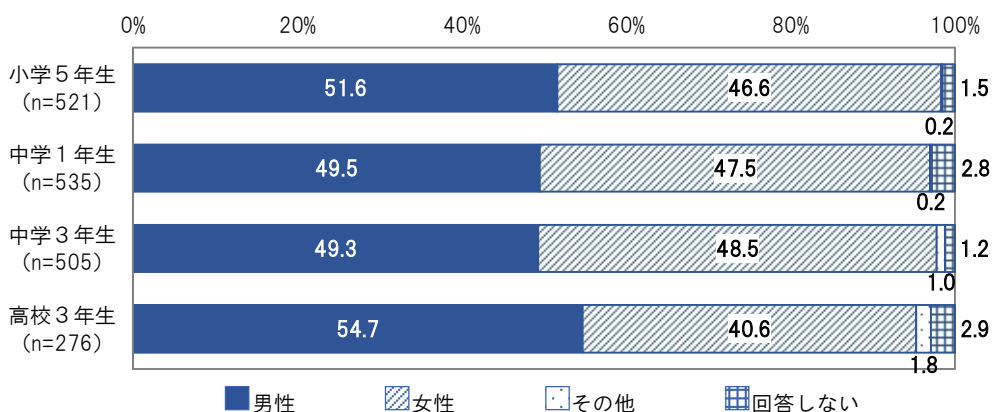
- ・学年は、小学5年生が 28.4%、中学1年生が 29.1%、中学3年生が 27.5%、高校3年生が 15.0%となっている。



(2) 性別

問 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

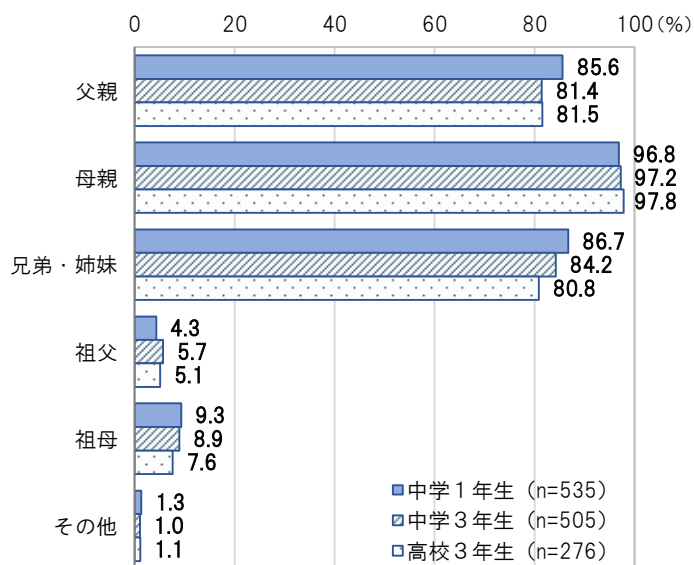
- ・性別は、「男性」「女性」がほぼ半分となっている。



(3) 同居家族 ※中学生・高校生のみ

問 あなたと一緒に住んでいる方は誰ですか。(〇はあてはまるものすべて)

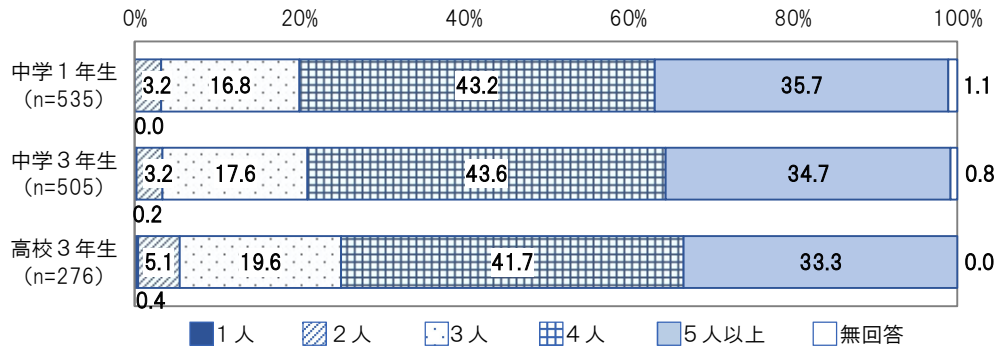
- ・同居家族は、すべての学年で「母親」が最も高く、次いで中学1年生・中学3年生では「兄弟・姉妹」、高校3年生では「父親」となっている。



(4) 同居家族の人数 ※中学生・高校生のみ

問 あなたと一緒に住んでいる方の合計人数をお答えください。

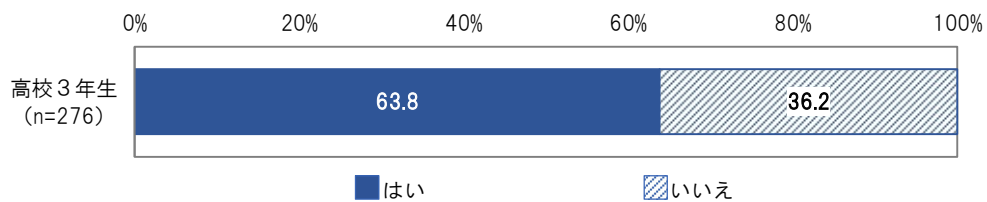
- 同居家族の人数は、すべての学年で「4人」が最も高く、次いで「5人以上」、「3人」の順となっている。また、学年が上がるほど人数が少なくなる傾向がみられる。



(5) 尼崎市の居住 ※高校生のみ

問 あなたは尼崎市に住んでいますか。(○は1つだけ)

- 高校生の尼崎市の居住は、「はい(市内在住)」が63.8%と6割を超えており、「いいえ(市外在住)」が36.2%となっている。

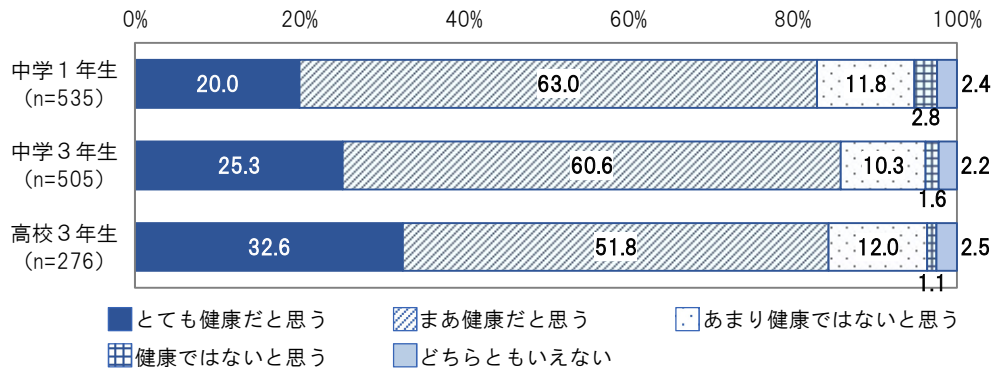


2. 現在の健康状態について ※中学生・高校生のみ

(1) 主観的健康観

中高問5 自分で健康だと思いますか。(○は1つだけ)

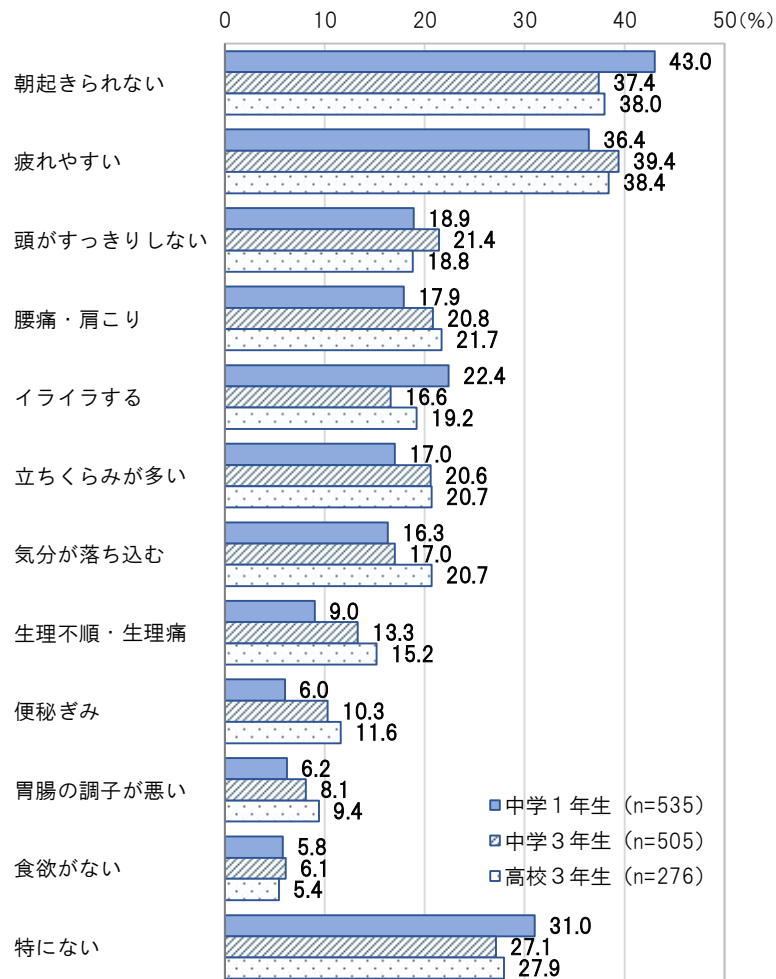
- 主観的健康観は、すべての学年で「まあ健康だと思う」が最も高く、「とても健康だと思う」を合わせた『健康だと思う』が8割を超えている。また、学年が上がるにつれて「とても健康だと思う」が高くなっており、高校3年生では3割を超えている。



(2) 身体の症状

中高問6 次のような症状がみられますか。(○はあてはまるものすべて)

- 身体の症状は、中学1年生では「朝起きられない」、中学3年生・高校3年生では「疲れやすい」が最も高くなっている。また、学年が上がるにつれて「腰痛・肩こり」や「気分が落ち込む」、「生理不順・生理痛」などが高くなる傾向がみられる。



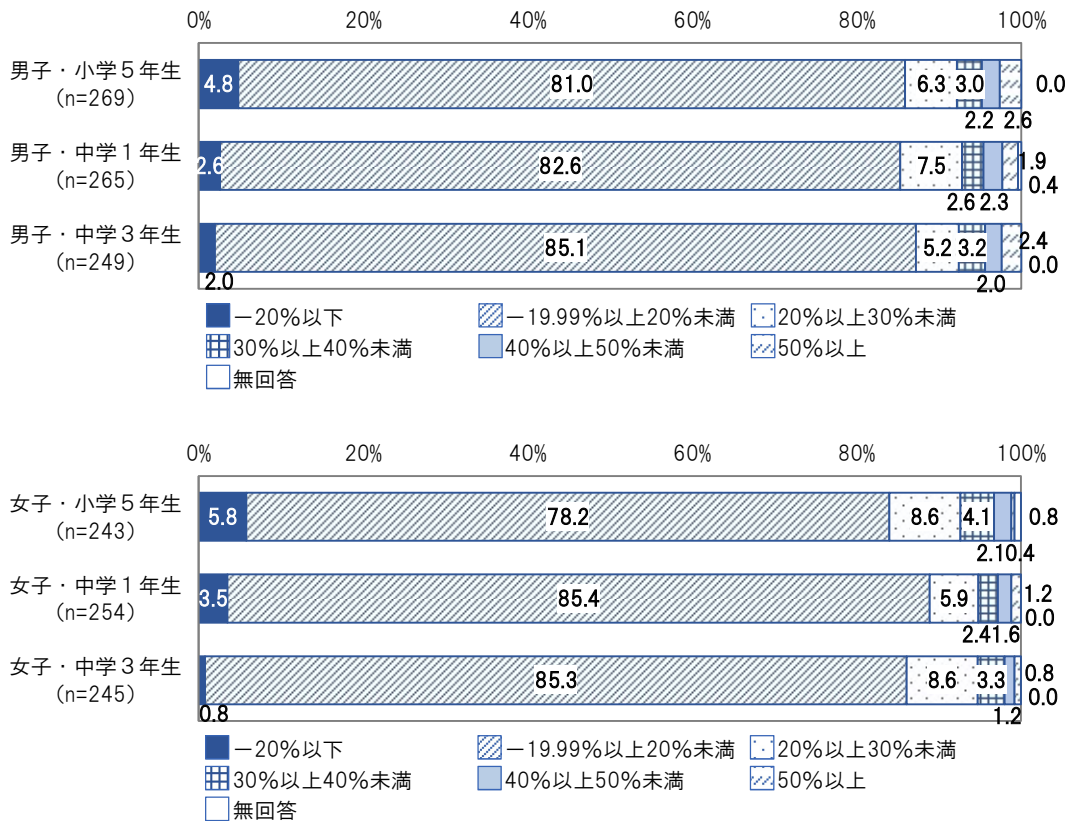
3. 身長・体重について

(1) 肥満度

小問3・中高問7 現在の身長・体重を教えてください。(最近測った数値で)

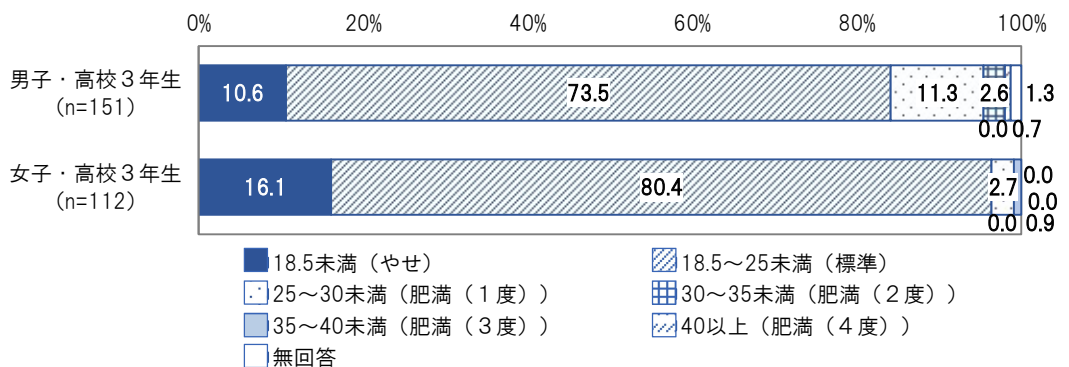
① 小学生・中学生

・身長・体重から算出した肥満度をみると、男子・女子ともに、「-19.99%以上 20%未満」が最も高くなっているものの、小学5年生で「-20%以下」がやや高く、また、全学年で『20%以上』が1割以上となっている。



② 高校生

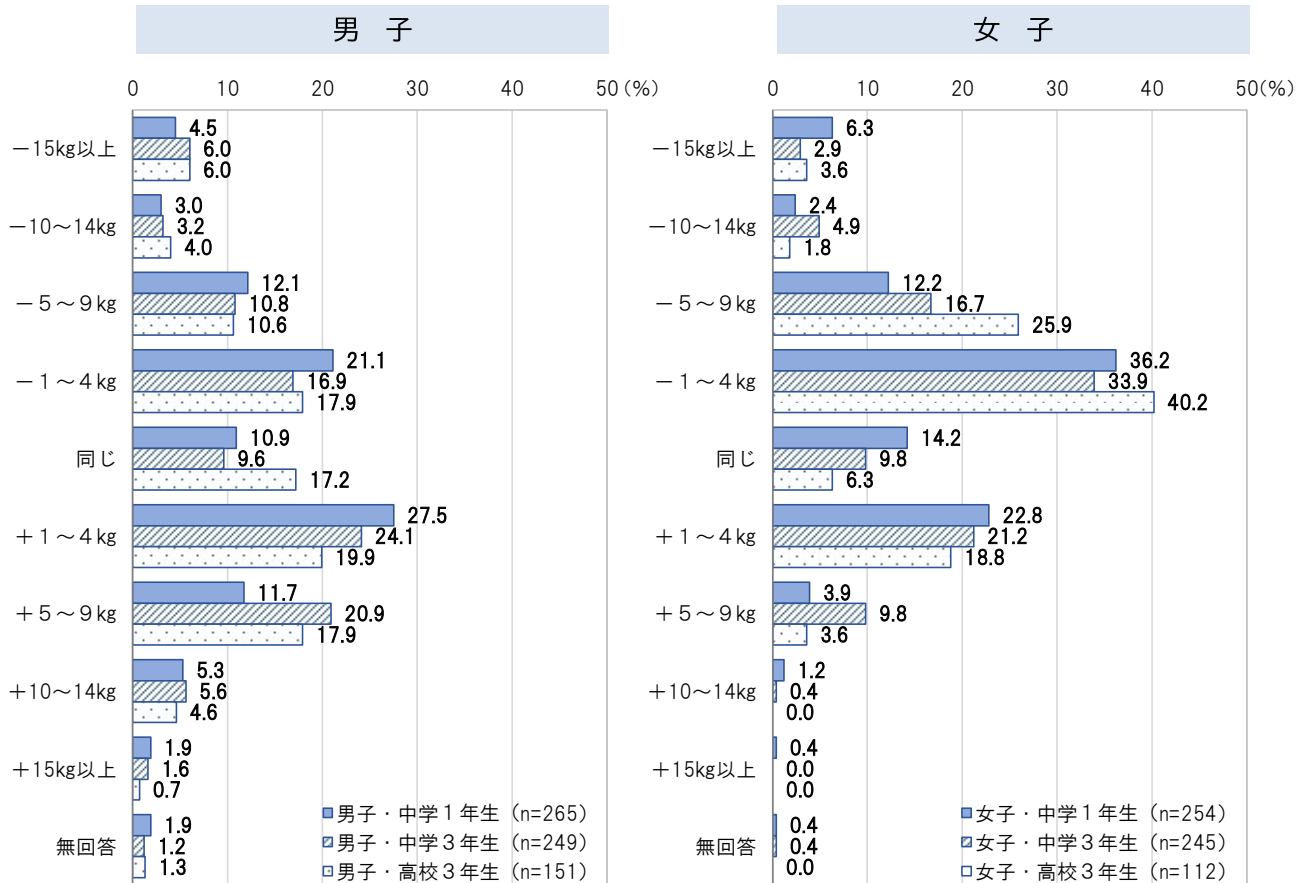
・身長・体重から算出したBMIをみると、男子・女子ともに、「18.5~25未満(標準)」が最も高くなっているものの、「18.5未満(やせ)」が1割を超え、特に女子では16.1%となっている。一方で、男子では、『25以上(肥満)』が14.6%と1割を超え、女子(3.6%)を大きく上回っている。



(2) 現在の体重と自分にあった体重との差 ※中学生・高校生のみ

中高問8 身長から考えて、何kgくらいが自分に合った体重(太りすぎ、やせすぎでない)だと思いますか。(小数点以下を四捨五入してください)

- 現在の体重と自分にあった体重との差は、すべての学年で、男子では「+1～4kg」が最も高く、女子では「-1～4kg」が最も高くなっている。



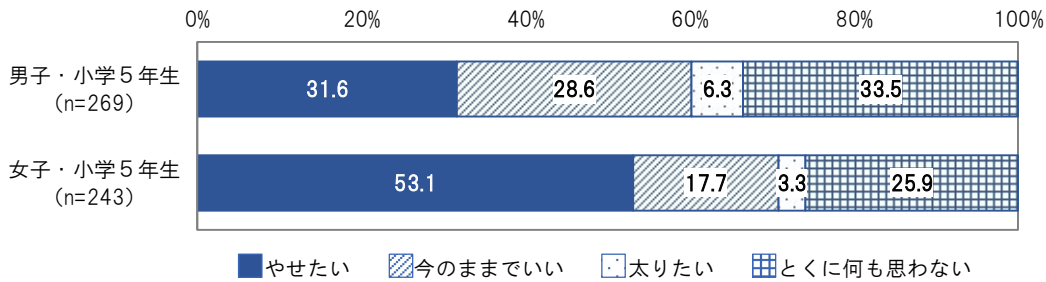
(3) 現在の体重に対する感じ方

小問4・中高問9 現在の体重についてどう思っていますか。(○は1つだけ)

やせたい、または太りたい人は、何kgになりたいかもご回答ください。※中学生・高校生のみ

① 小学生

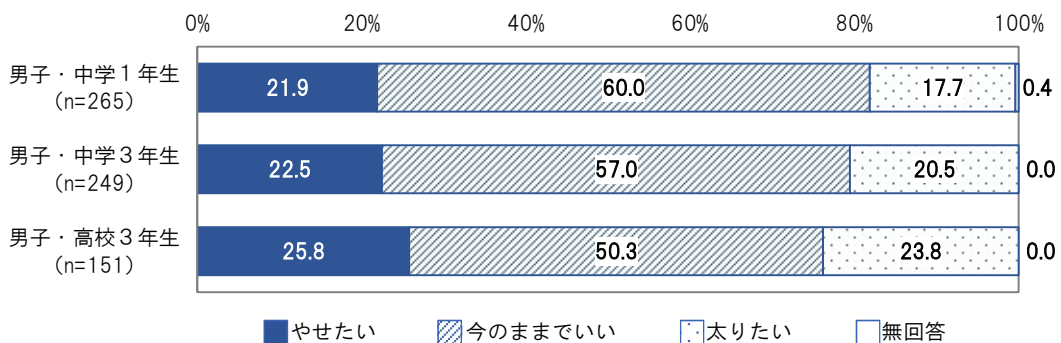
- 現在の体重に対する感じ方は、小学生では男子・女子ともに、「やせたい」が最も高く、特に女子では53.1%と半数を超え、男子(31.6%)を20ポイント以上上回っている。
- また、男子では「今のままでいい」が28.6%と3割近くを占めている。



② 中学生・高校生

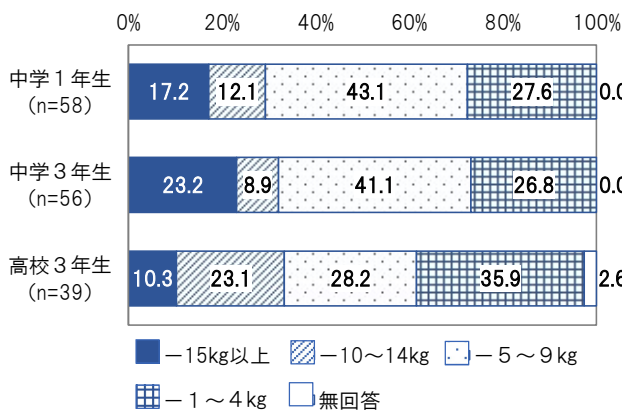
《 男子 》

- 現在の体重に対する感じ方は、中学生・高校生では男子は「今のままでいい」が最も高く、学年が下がるにつれて割合が高くなる傾向がみられる。

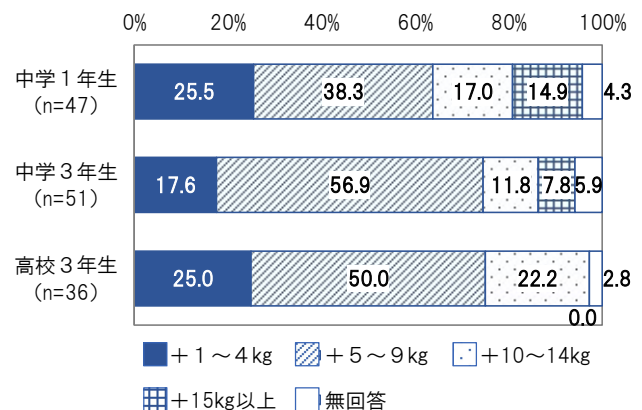


- やせたいと回答した男子では、中学1年生・中学3年生では「-5~9kg」、高校3年生では「-1~4kg」が最も高く、太りたいと回答した男子では「+5~9kg」が最も高くなっている。

やせたい男子のやせたいkg数

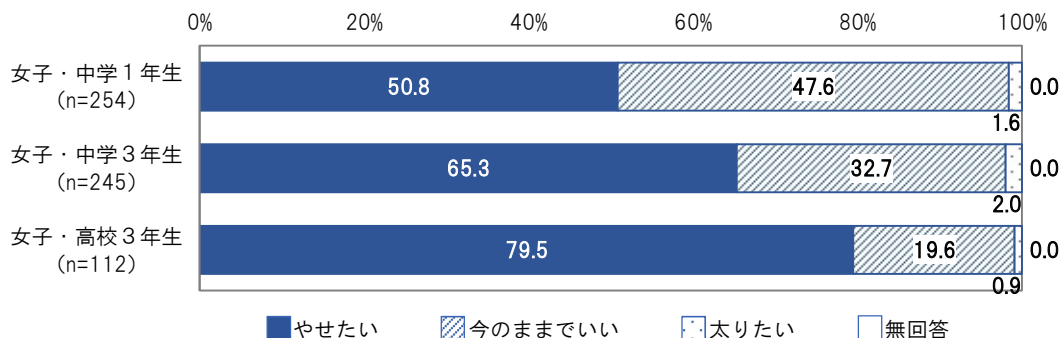


太りたい男子の太りたいkg数

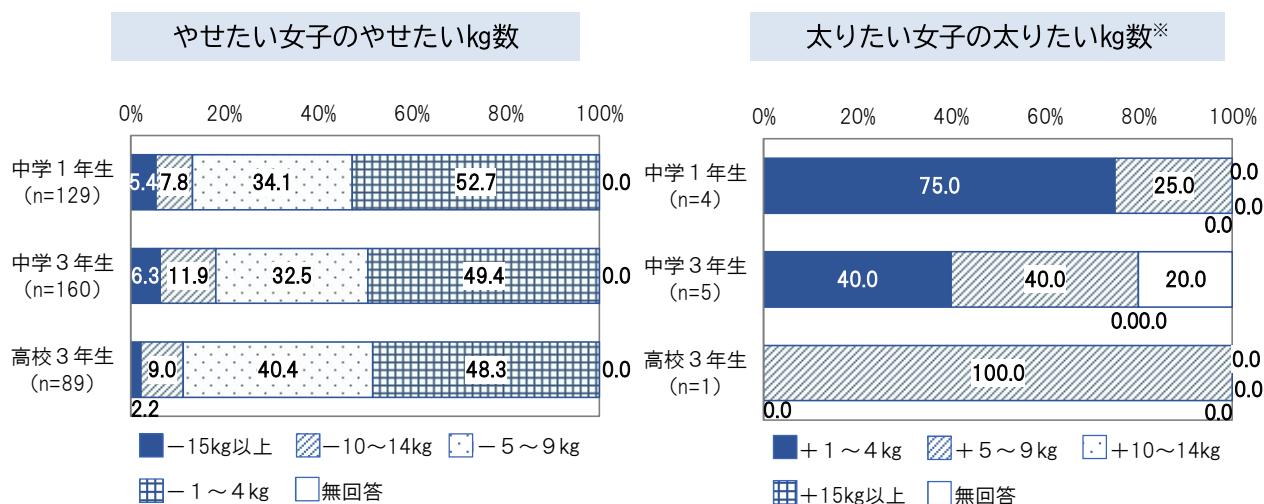


《女子》

- 女子では、すべての学年で「やせたい」が最も高く、特に学年が上がるにつれて割合が高くなっており、高校3年生では79.5%と約8割を占めている。



- やせたいと回答した女子では、すべての学年で「-1~4kg」が最も高くなっている。

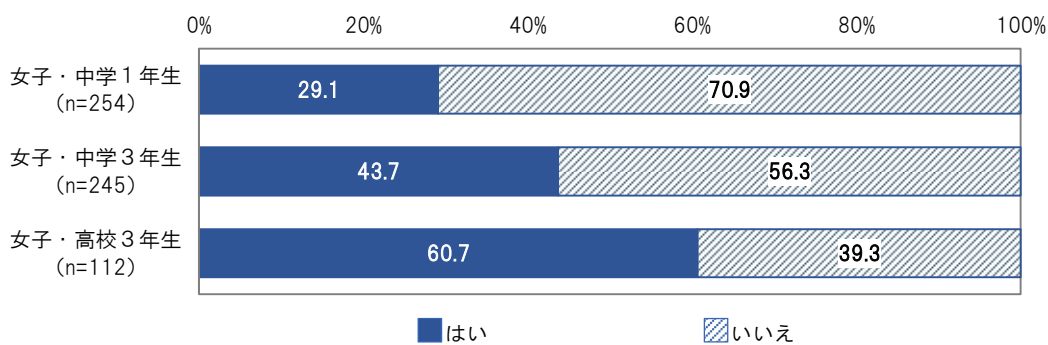
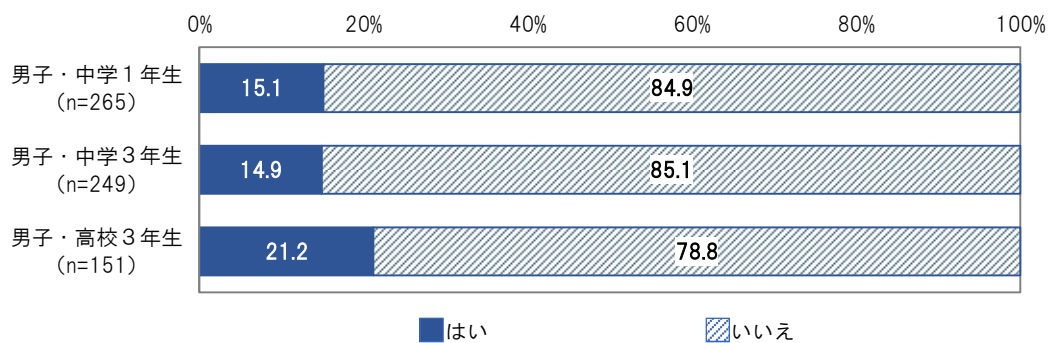


※太りたい女子の太りたいkg数については、回答者数が少ないため参考値

(4) ダイエットの有無 ※中学生・高校生のみ

中高問10 ダイエットをしたことがありますか。(○は1つだけ)

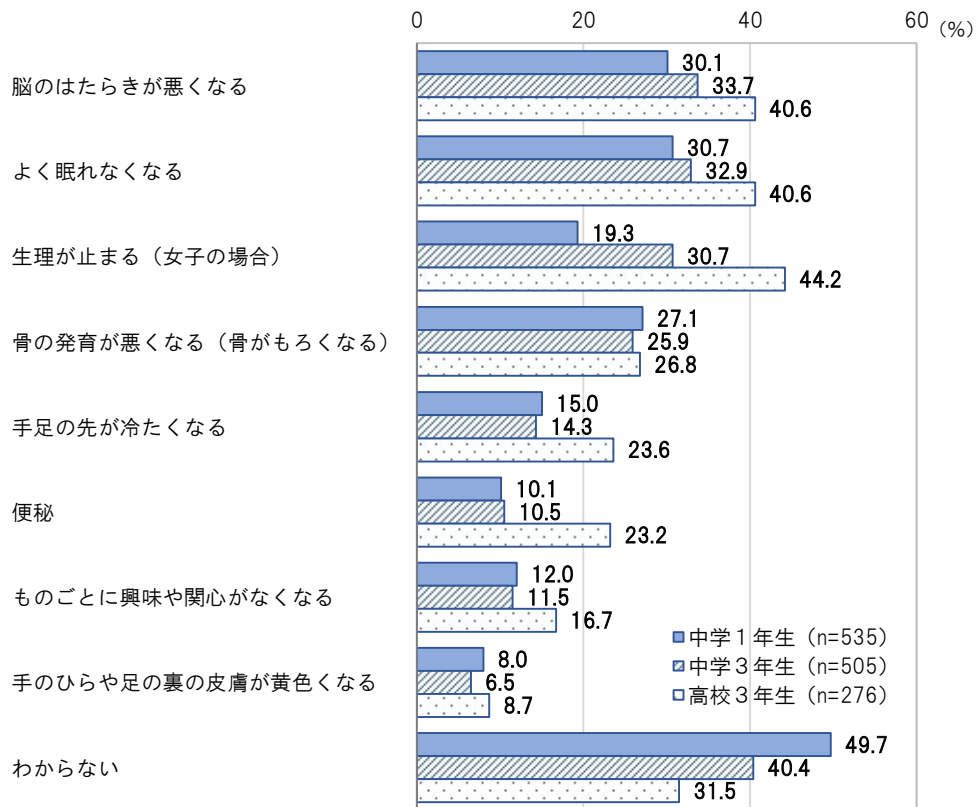
・ダイエットの有無は、男子では、すべての学年で「いいえ(したことはない)」が大半を占めているのに対し、女子では学年が上がるにつれて「はい(したことがある)」が高くなっており、高校3年生では約6割を占めている。



(5) 極端なダイエットの影響の認知 ※中学生・高校生のみ

中高問 11 極端なダイエットは、どのような影響があると思いますか。
 (○はあてはまるものすべて)

・極端なダイエットの影響の認知は、高校3年生では「脳のはたらきが悪くなる」や「よく眠れなくなる」、「生理が止まる(女子の場合)」などの回答が高くなり、学年が上がるにつれて認知が高くなっている。

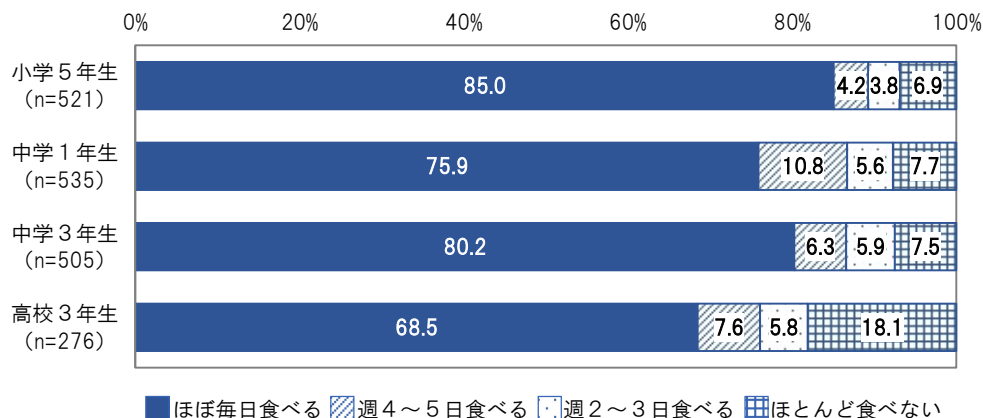


4. 栄養・食生活習慣について

(1) 朝食の摂取状況

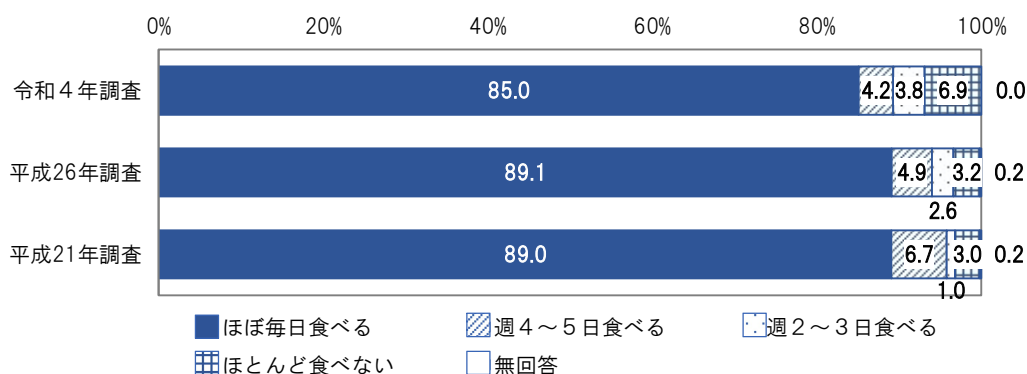
小問 12①・中高問 12 あなたは朝食を食べますか。(○は1つだけ)

- ・朝食の摂取状況は、すべての学年で「ほぼ毎日食べる」が最も高くなっているものの、概ね学年が上がるにつれて割合が低くなっており、高校3年生では68.5%と7割未満となっている。
- ・また、概ね学年が上がるにつれて「ほとんど食べない」が高くなっており、高校3年生では18.1%と2割近くとなっている。



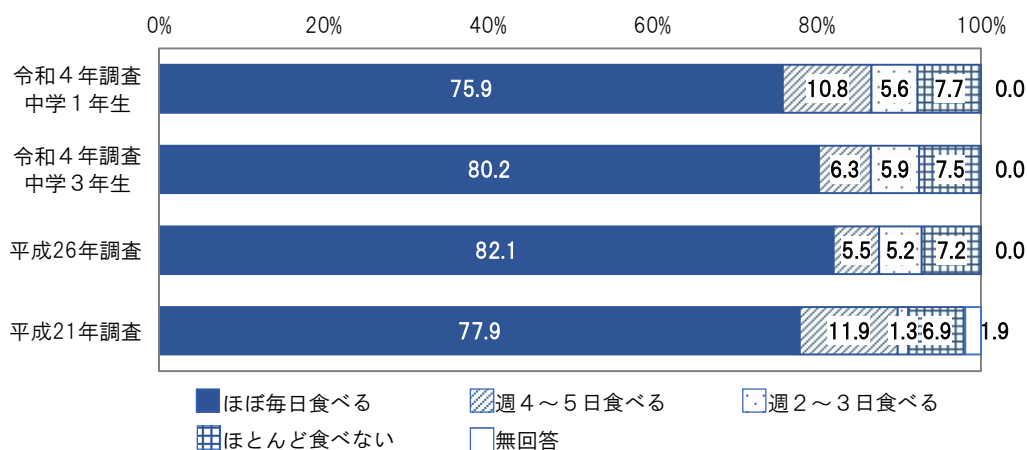
《経年比較：小学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・小学生の朝食の摂取状況を経年で比較すると、「ほぼ毎日食べる」がやや低くなっている。



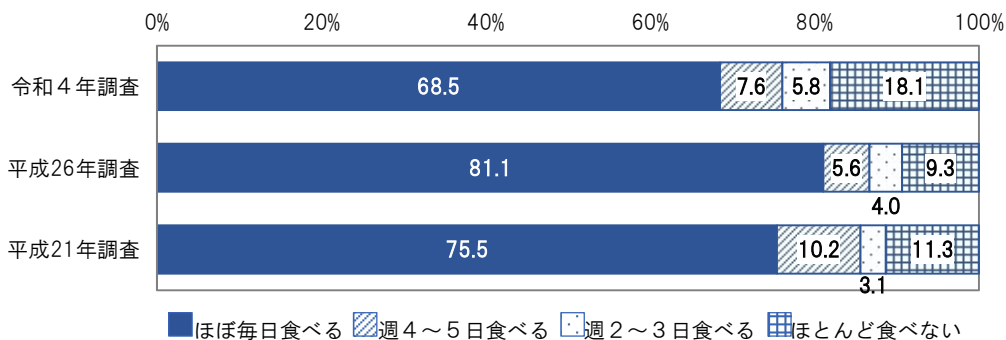
《経年比較：中学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・中学生の朝食の摂取状況を経年で比較すると、平成26年調査と比べて「ほぼ毎日食べる」が低くなっている。



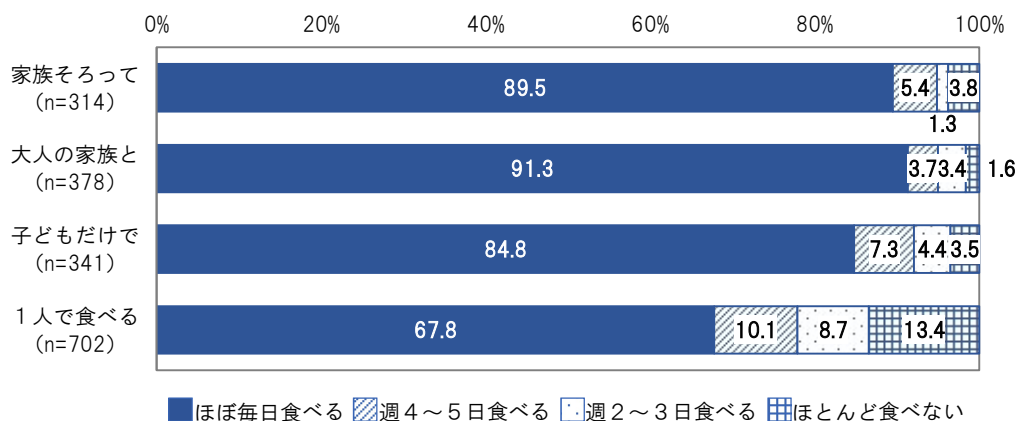
《経年比較：高校生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・ 高校生の朝食の摂取状況を経年で比較すると、平成26年調査と比べて「ほぼ毎日食べる」が81.1%から68.5%と、10ポイント以上低くなっている。



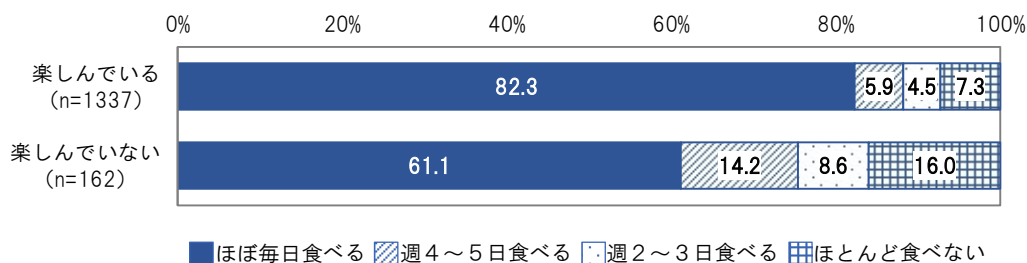
《朝食の共食状況別》

- ・ 朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”や“大人の家族と”食べる層では「ほぼ毎日食べる」が9割程度と高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では7割未満と低くなっている。



《食事を楽しんでいるかの状況別》

- ・ 食事を楽しんでいるかの状況別にみると、“楽しんでいる”層では「ほぼ毎日食べる」が8割を超えているのに対し、“楽しんでいない”層では6割程度と低くなっている。

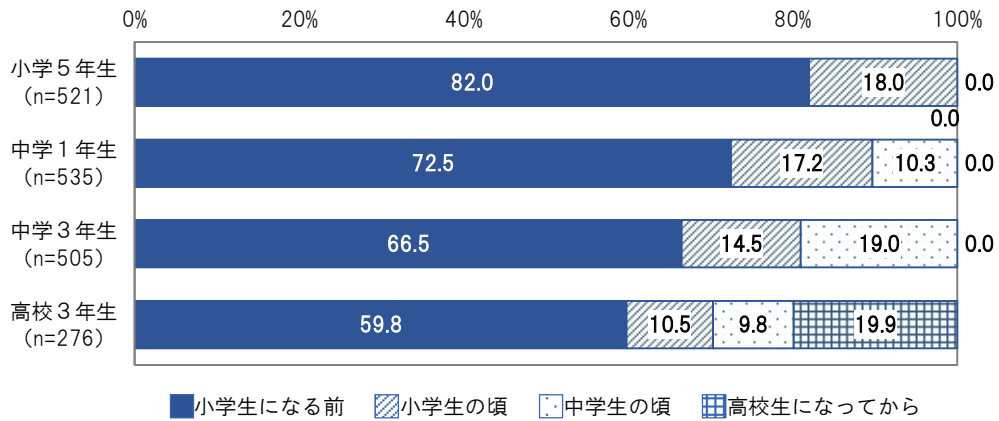


(2) 現在の朝食習慣がはじまった時期

小問 12②・中高問 13

問 12 の朝食を食べる頻度について、いつからその習慣が続いていますか。(○は1つだけ)

・現在の朝食習慣がはじまった時期は、すべての学年で「小学生になる前」が最も高くなっている。

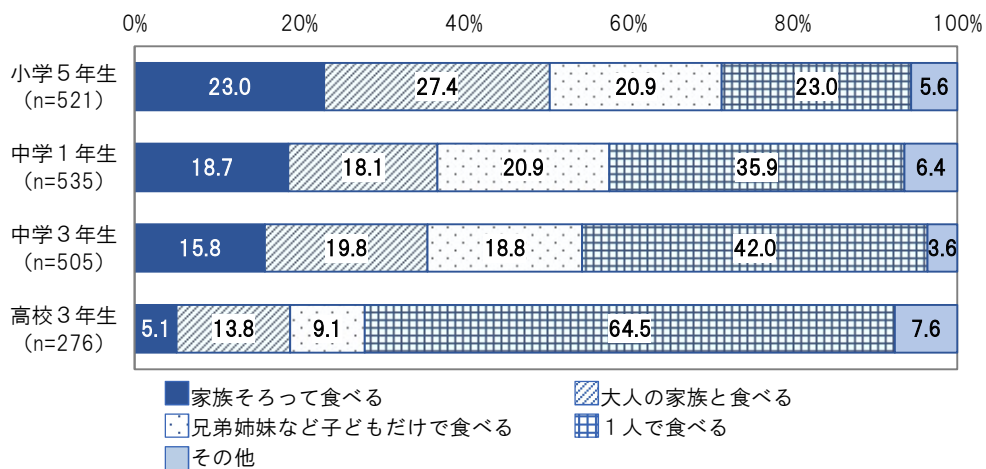


(3) 共食の状況

小問 13・中高問 14 あなたは、普段、誰と食事を食べますか。朝食、夕食それぞれについて回答してください。(○はそれぞれ1つずつ)

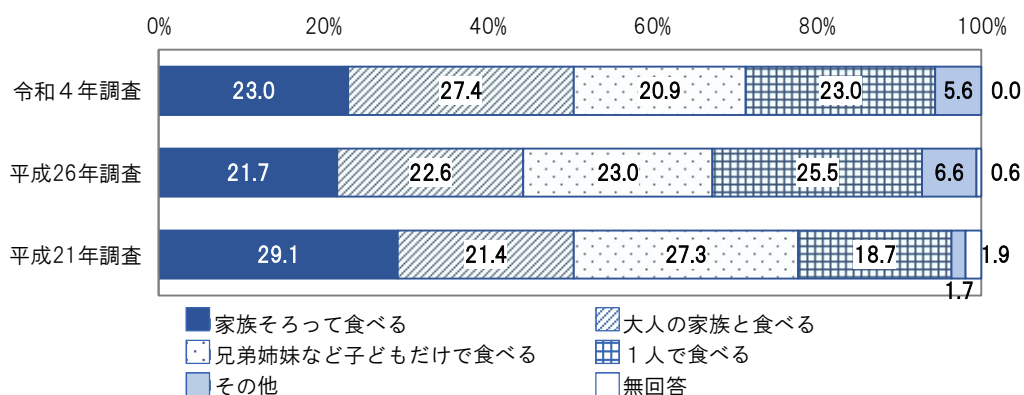
① 朝食

- ・朝食の共食状況は、学年が上がるにつれて「1人で食べる」が高くなっており、高校3年生では64.5%と6割を超えている。
- ・また、概ね学年が下がるにつれて「家族そろって食べる」や「大人の家族と食べる」が高くなっており、大人の誰かと食べている人が多くなっている。



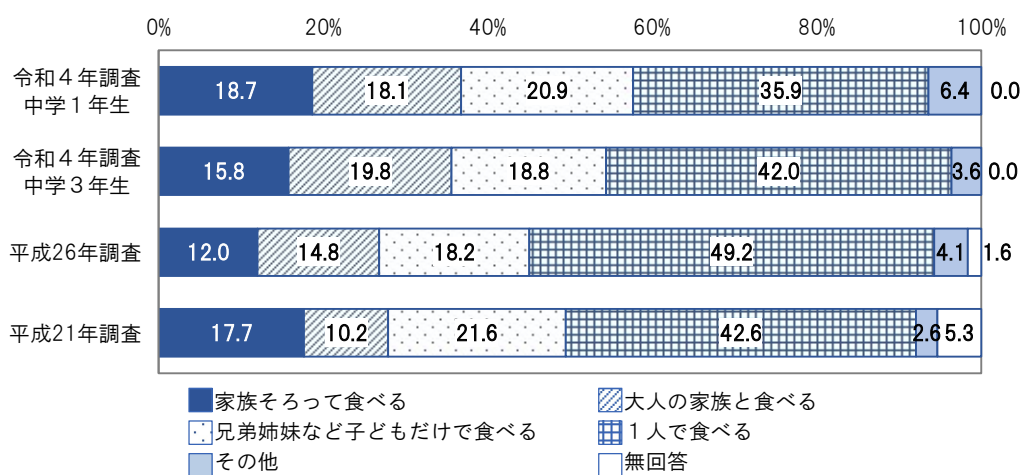
《経年比較：小学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 小学生の朝食の共食状況を経年で比較すると、平成26年調査に比べて「大人の家族と食べる」がやや高くなっている。



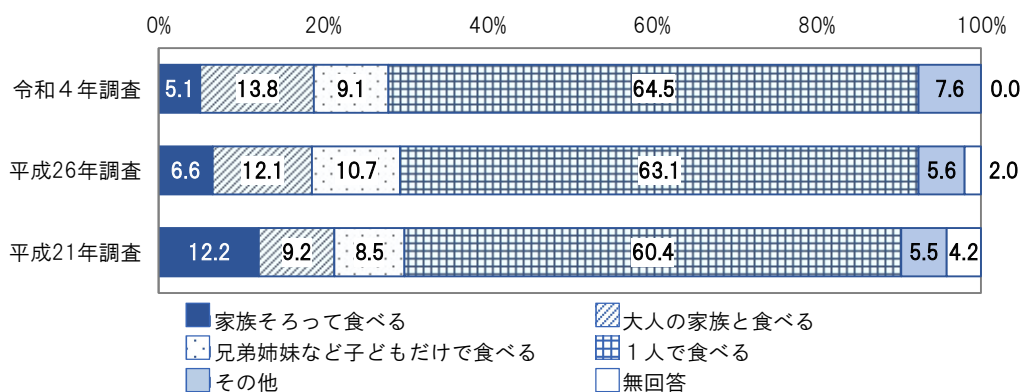
《経年比較：中学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 中学生の朝食の共食状況を経年で比較すると、平成26年調査と比べて「家族そろって食べる」や「大人の家族と食べる」が高くなっている。



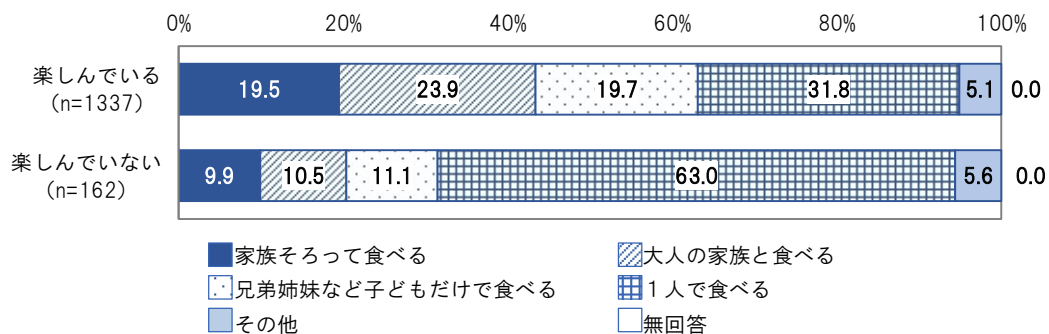
《経年比較：高校生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 高校生の朝食の共食状況を経年で比較すると、「家族そろって食べる」が年々低くなっている。



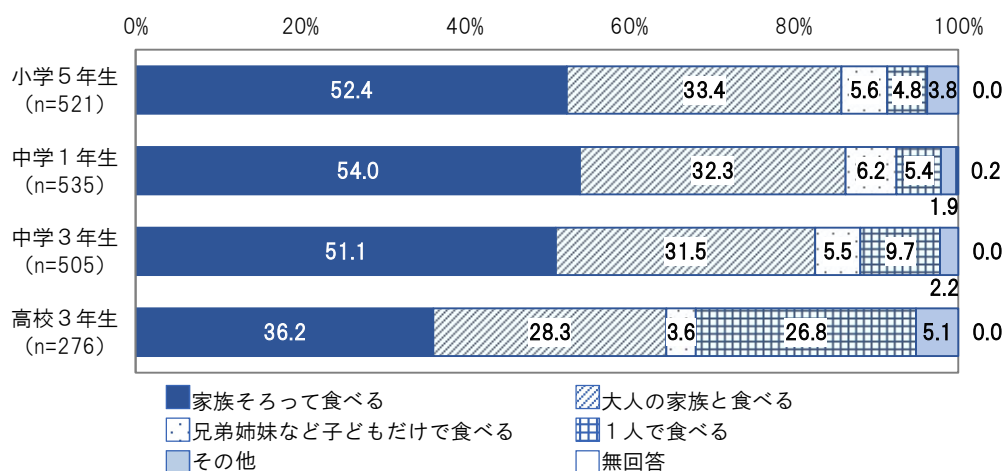
《食事を楽しんでいるかの状況別》

- ・食事を楽しんでいるかの状況別にみると、“楽しんでいる”層では『「家族そろって食べる」と「大人の家族と食べる」』が4割を超えているのに対し、“楽しんでいない”層では2割程度と低くなっている。



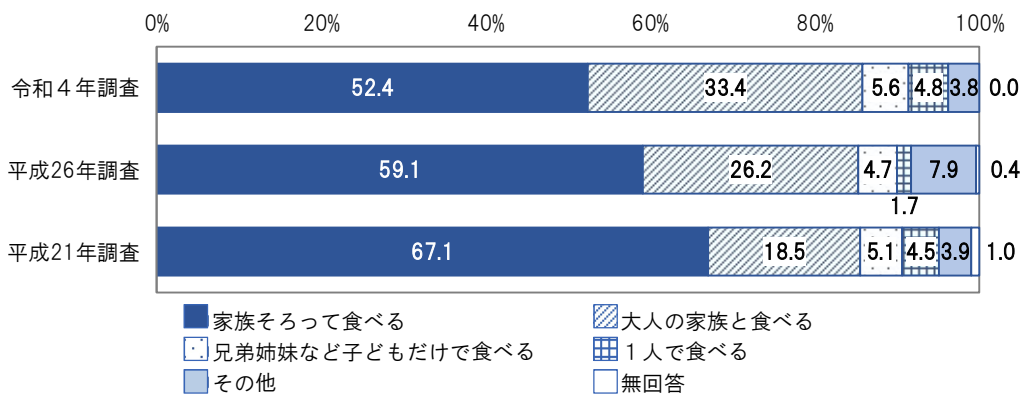
② 夕食

- ・夕食の共食状況は、すべての学年で「家族そろって食べる」が最も高くなっているものの、小学生・中学生では5割を超えているのに対し、高校3年生では4割未満となっている。
- ・また、高校3年生では「1人で食べる」が26.8%と2割を超えている。



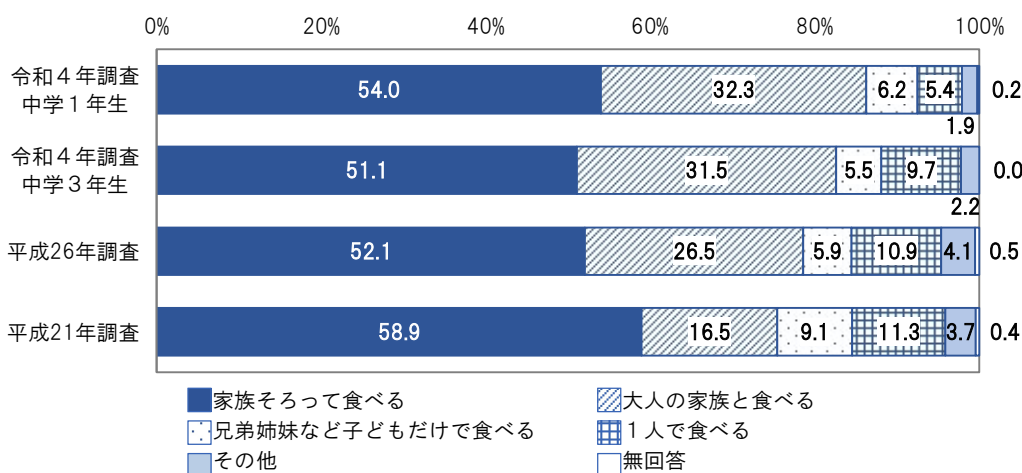
《経年比較：小学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 小学生の夕食の共食状況を経年で比較すると、「家族そろって食べる」が年々低くなっており、「大人の家族と食べる」が年々高くなっている。



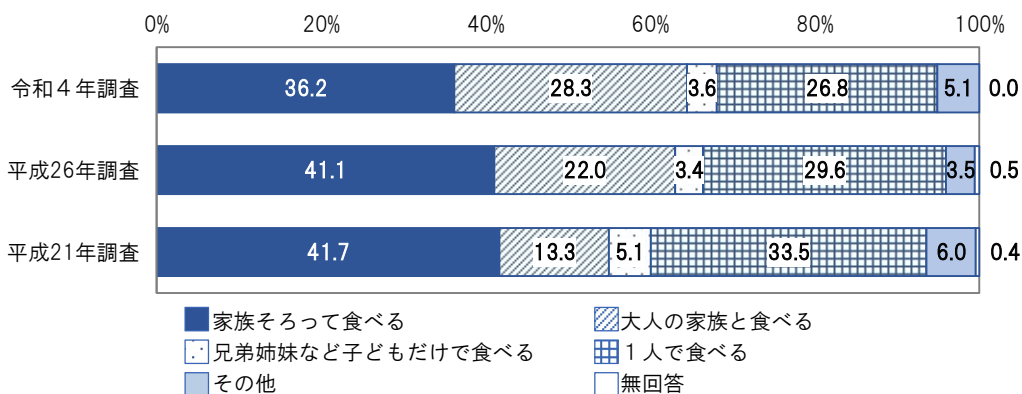
《経年比較：中学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 中学生の夕食の共食状況を経年で比較すると、「大人の家族と食べる」が年々高くなっている。



《経年比較：高校生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

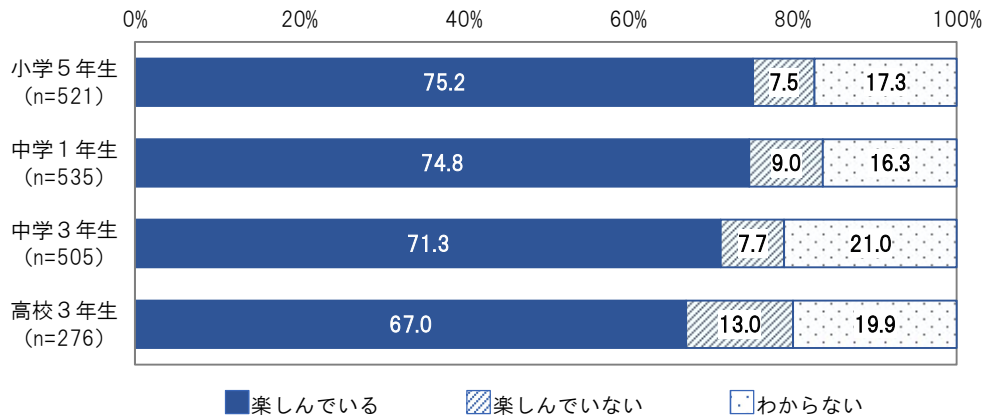
- 高校生の夕食の共食状況を経年で比較すると、「家族そろって食べる」や「1人で食べる」は年々低くなっており、「大人の家族と食べる」が年々高くなっている。



(4) 食事を楽しんでいるか

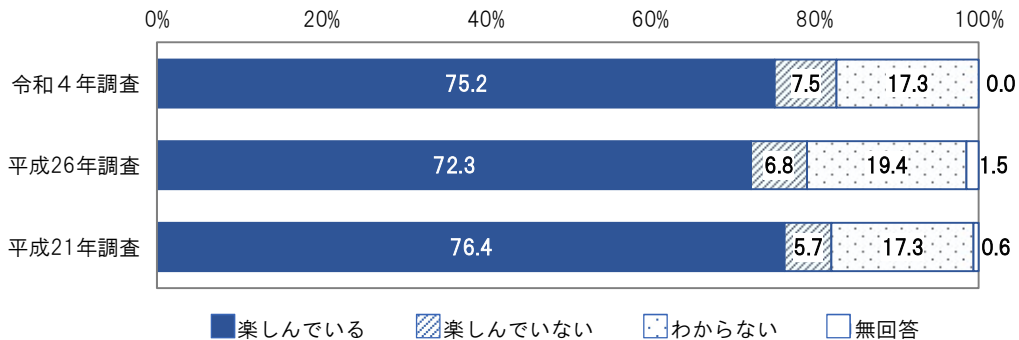
小問14・中高問15 あなたは、会話をするなど、楽しんで食事をしていますか。(○は1つだけ)

- ・食事を楽しんでいるかは、すべての学年で「楽しんでいる」が最も高くなっているものの、学年が上がるにつれて低くなっており、高校3年生では67.0%と7割未満となっている。



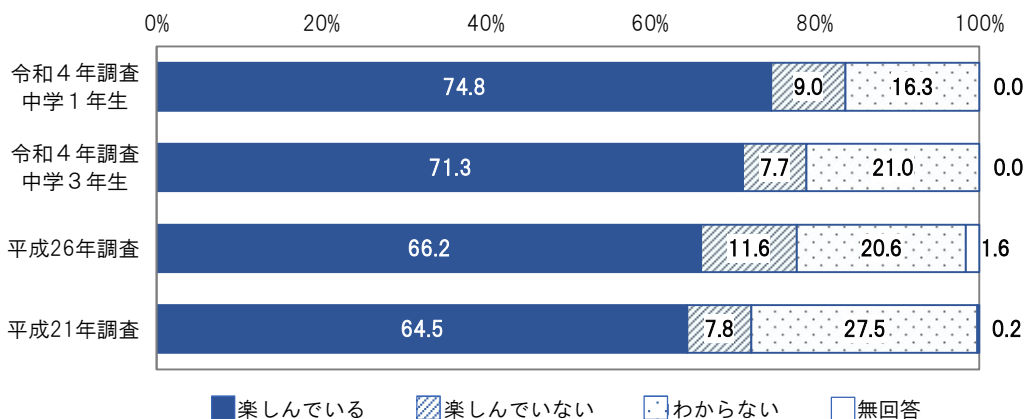
《経年比較：小学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・小学生の食事を楽しんでいるかの状況を経年で比較すると、平成26年調査と比べて「楽しんでいる」がやや高くなっている。



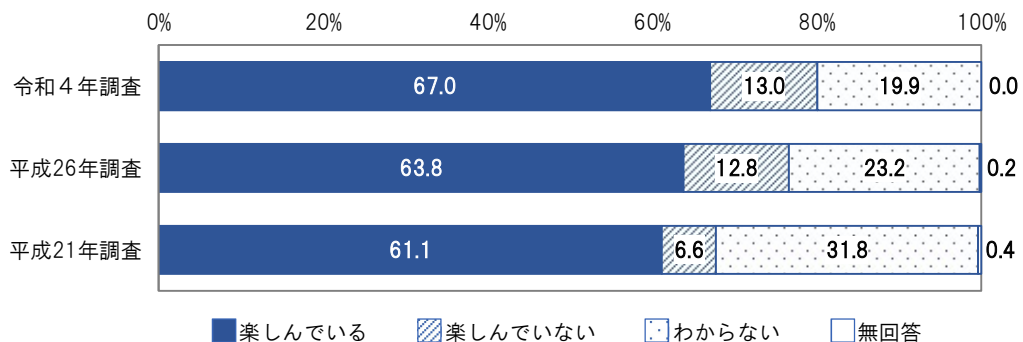
《経年比較：中学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・中学生の食事を楽しんでいるかの状況を経年で比較すると、「楽しんでいる」が年々高くなっている。



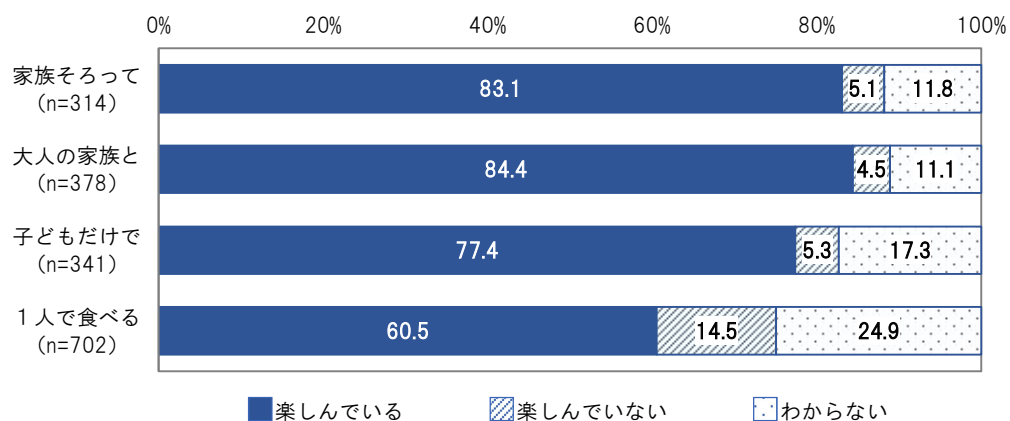
《経年比較：高校生》 ※平成 21 年調査、平成 26 年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・高校生の食事を楽しんでいるかの状況を経年で比較すると、「楽しんでいる」が年々高くなっているものの、「楽しんでいない」もやや高くなっている。



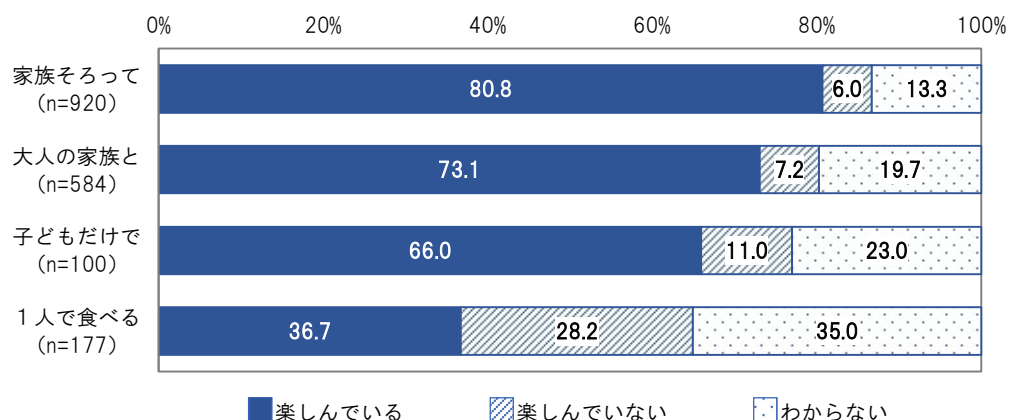
《朝食の共食状況別》

- ・朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”や“大人の家族と”食べる層では「楽しんでいる」が8割を超えて高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では約6割と低くなっている。



《夕食の共食状況別》

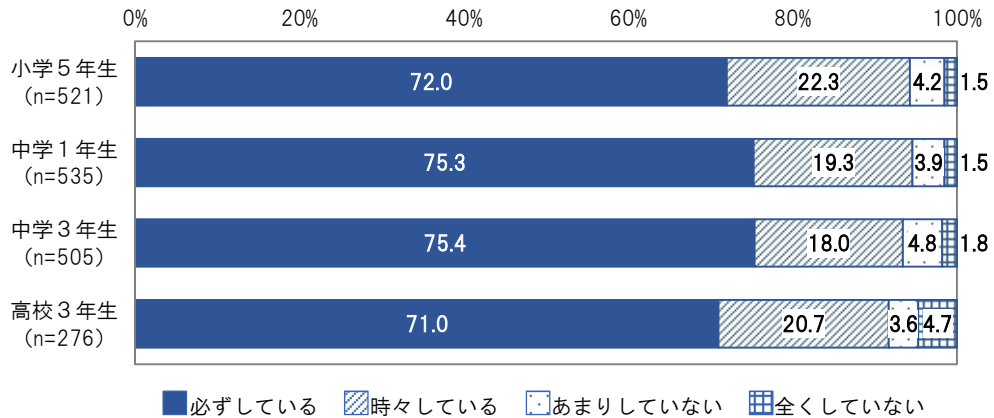
- ・夕食の共食状況別にみると、“家族そろって”食べる層では「楽しんでいる」が約8割を占めて高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では4割未満と低くなっている。



(5) 食事の挨拶

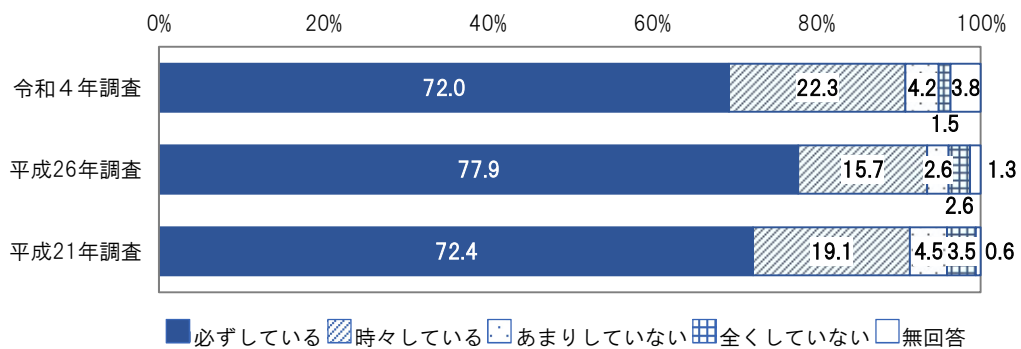
小問15・中高問16 あなたは、食事の際に、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしていますか。(〇は1つだけ)

- ・食事の挨拶は、すべての学年で「必ずしている」が最も高く、「時々している」と合わせた『している』が、すべての学年で9割を超えている。



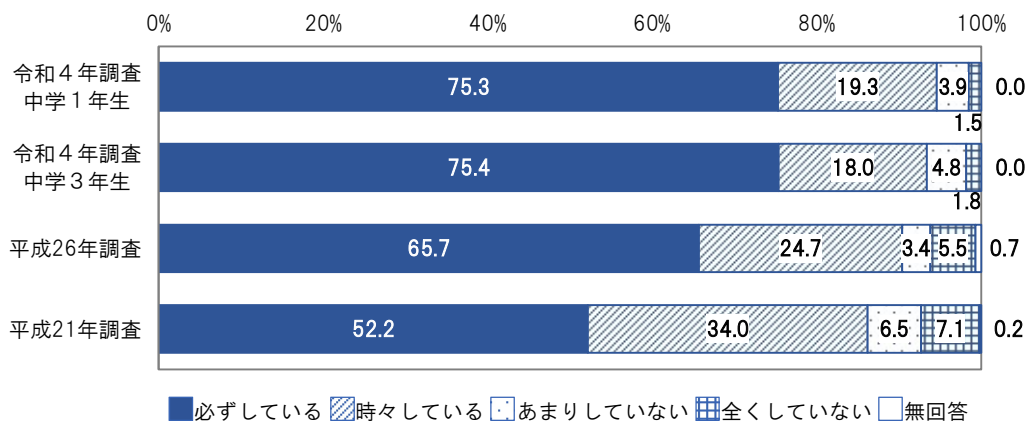
《経年比較：小学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・小学生の食事の挨拶の状況を経年で比較すると、平成26年調査と比べて「必ずしている」が低くなっている。



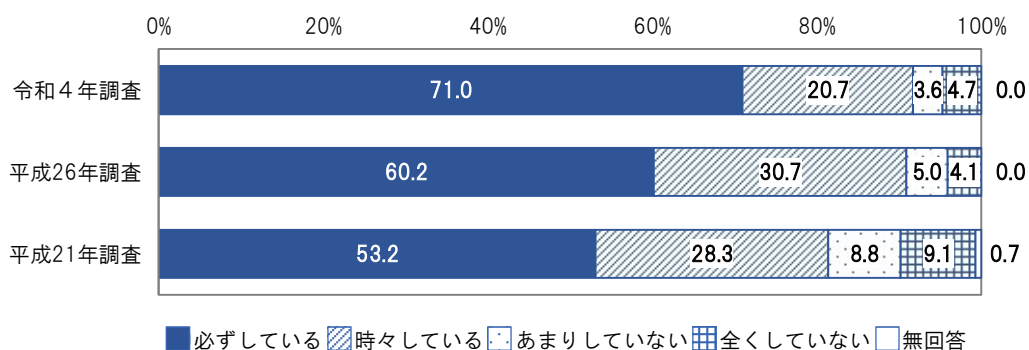
《経年比較：中学生》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・中学生の食事の挨拶の状況を経年で比較すると、「必ずしている」が年々高くなっている。



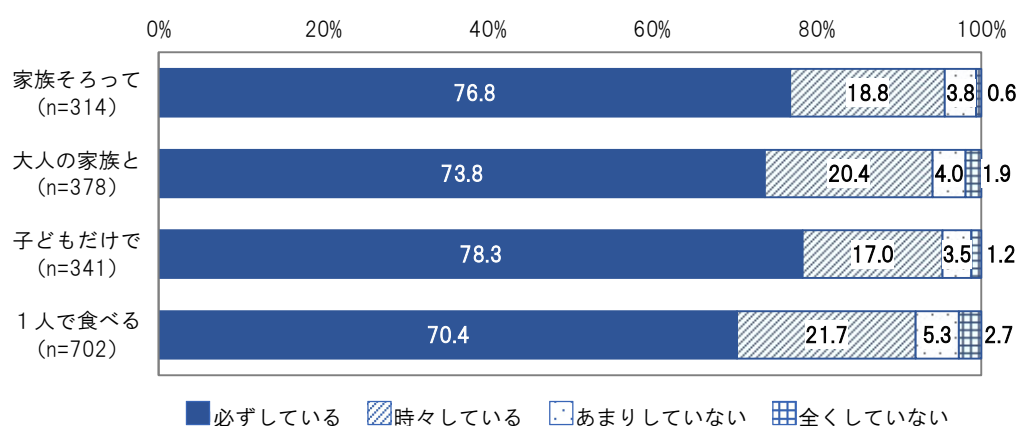
《経年比較：高校生》 ※平成 21 年調査、平成 26 年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・ 高校生の食事の挨拶の状況を経年で比較すると、「必ずしている」が年々高くなっている。



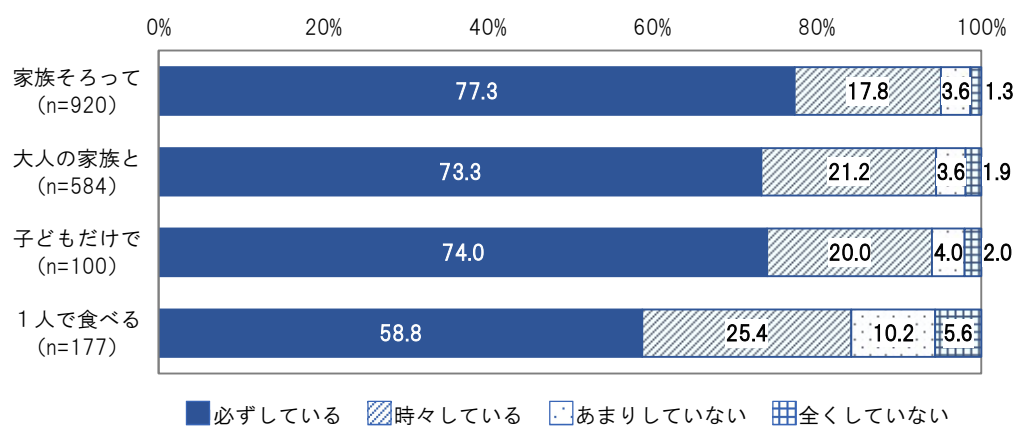
《朝食の共食状況別》

- ・ 朝食の共食状況別にみると、“1人で食べる”層では「必ずしている」と「時々している」を合わせた『している』がやや低くなっている。



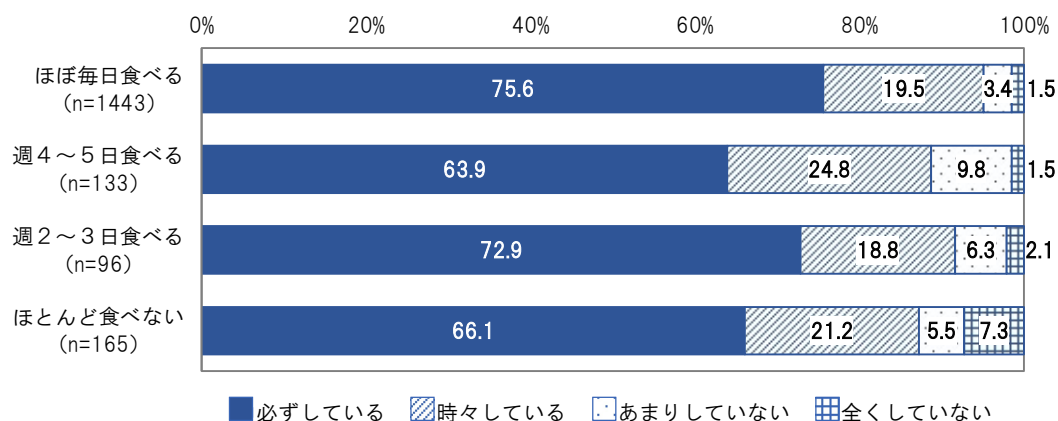
《夕食の共食状況別》

- ・ 夕食の共食状況別にみると、“家族そろって”食べる層では「必ずしている」が8割近くを占めて高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では6割未満と低くなっている。



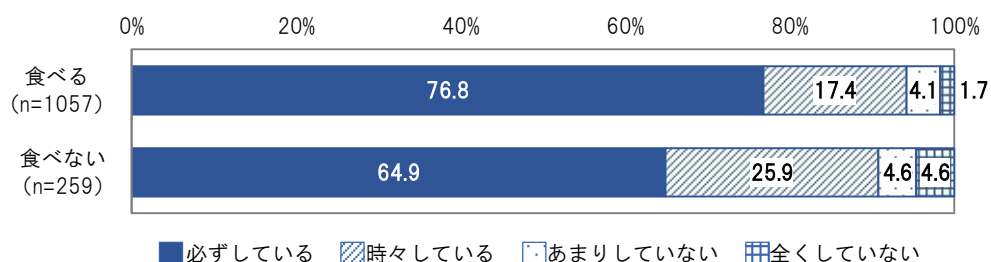
《朝食の摂取状況別》

- 朝食の摂取状況別にみると、“ほぼ毎日食べる”層では「必ずしている」が75.6%と最も高くなっている。また、“ほとんど食べない”層では「全くしていない」が7.3%と1割近くを占め、その他の層に比べてやや高くなっている。



《食事のバランス（1日2回以上の主食・主菜・副菜がそろった食事の摂取状況）別》

- 食事のバランス別にみると、“食べる”層では「必ずしている」が7割を超えて高くなっているのに対し、“食べない”層では6割程度と低くなっている。

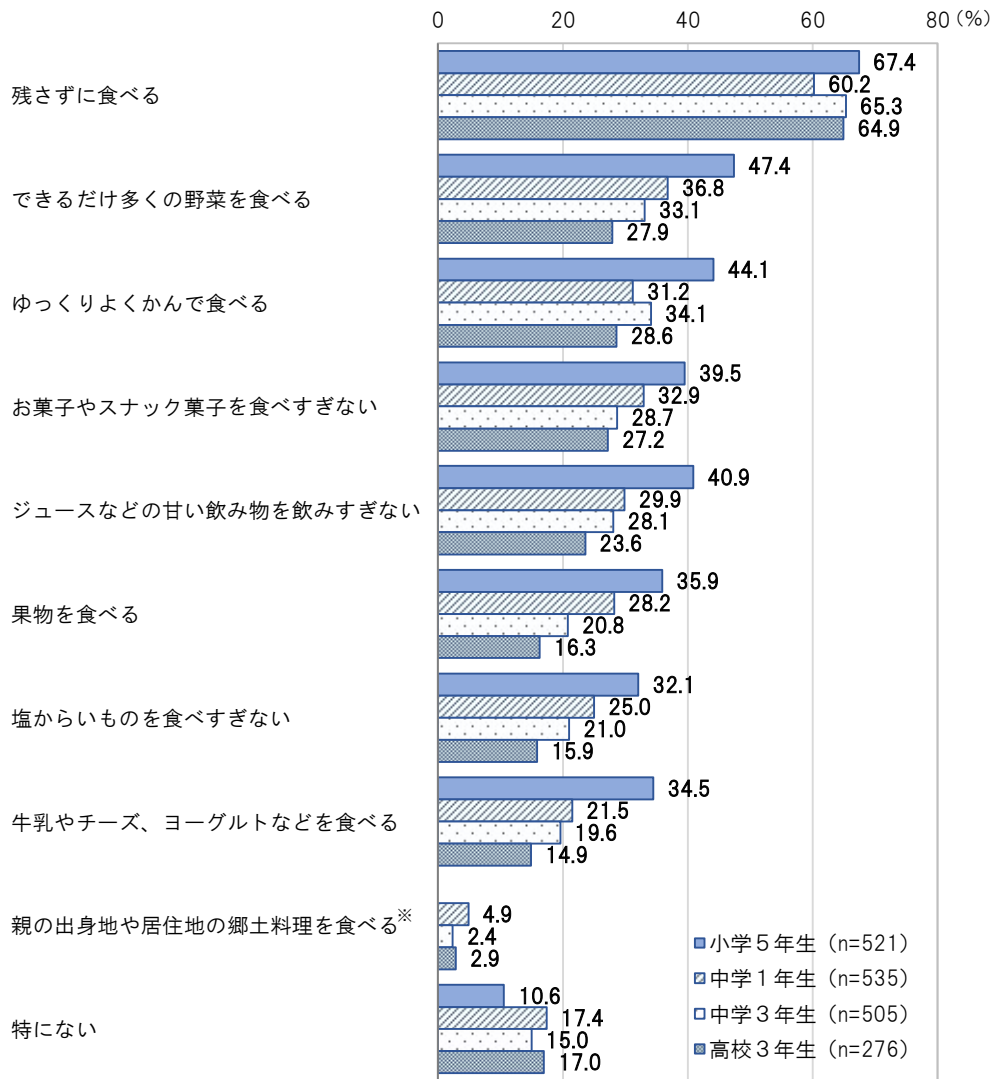


(6) 普段の食生活の中で意識していること

小問 16・中高問 17 あなたは、普段の食生活の中で次のことを意識していますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 普段の食生活の中で意識していることは、すべての学年で「残さずに食べる」が6割を超えて最も高く、次いで小学5年生・中学1年生では「できるだけ多くの野菜を食べる」、中学3年生・高校3年生では「ゆっくりよくかんで食べる」となっている。
- また、ほとんどの項目で、学年が上がるにつれて割合が低くなっており、特に「できるだけ多くの野菜を食べる」や「果物を食べる」、「牛乳やチーズ、ヨーグルトなどを食べる」では、最も高い小学5年生と最も低い高校3年生とで、20ポイント程度の差がみられる。

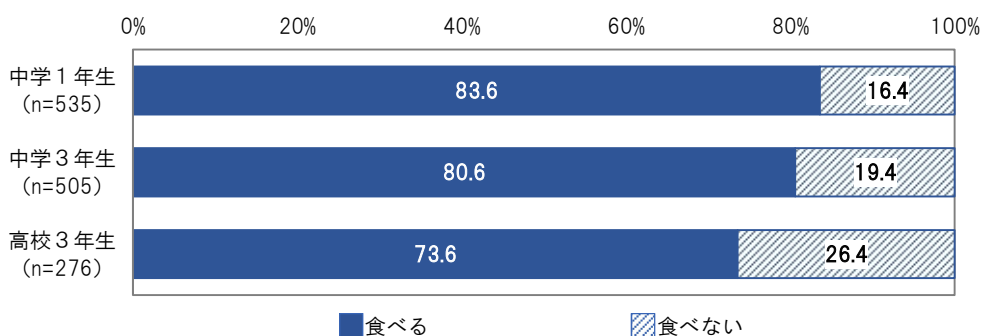


※「親の出身地や居住地の郷土料理を食べる」は、中学生・高校生だけの項目

(7) 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取 ※中学生・高校生のみ

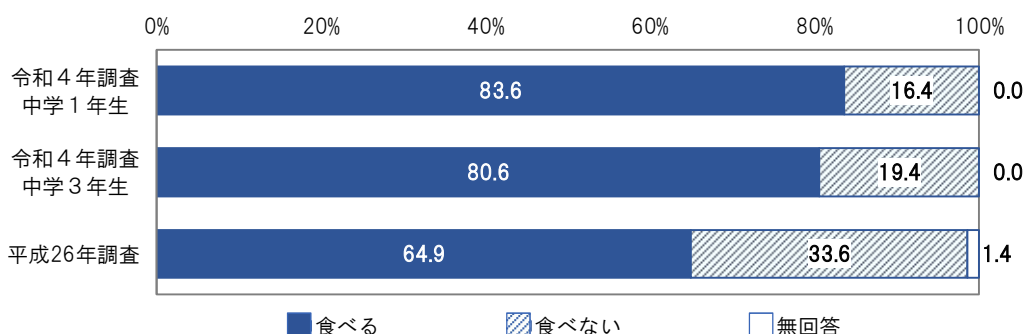
中高問 18 ①あなたは、主食・主菜・副菜の3つがそろった食事を、1日2回以上食べますか。
(○は1つだけ)

- 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取は、すべての学年で「食べる」が大半を占めているものの、学年が上がるにつれて低くなっており、高校3年生では73.6%と7割程度となっている。



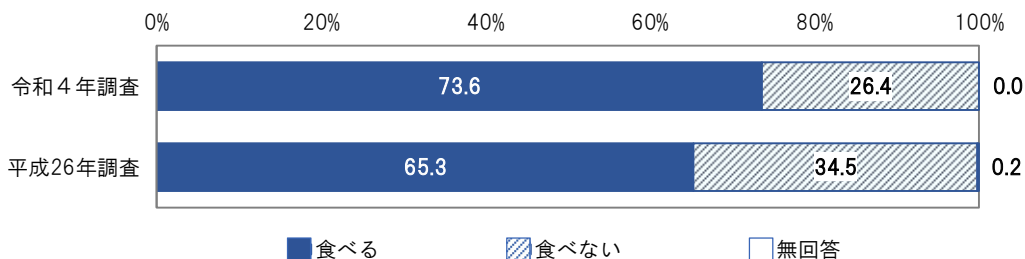
《経年比較：中学生》 ※平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 中学生の1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取の状況を平成26年調査と比較すると、「食べる」が大きく増加している。



《経年比較：高校生》 ※平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 高校生の1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取の状況を平成26年調査と比較すると、「食べる」が65.3%から73.6%と、約8ポイント増加している。

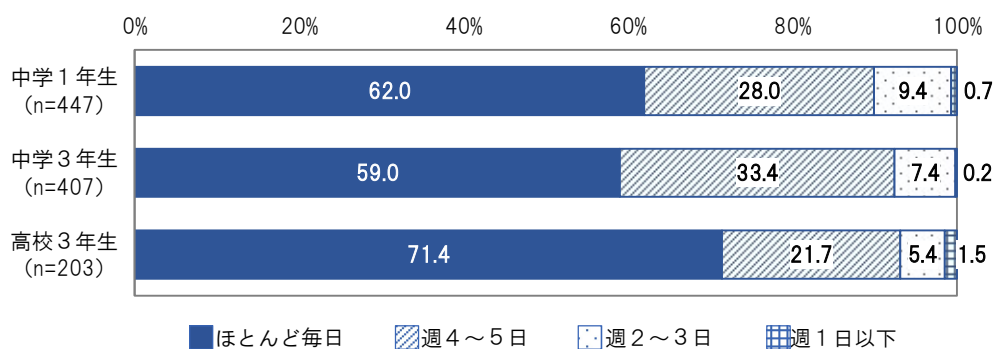


(7) -① 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の頻度 ※中学生・高校生のみ

※(7)で「食べる」と回答した人のみ

中高問 18 ②主食と主菜と副菜の3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つだけ)

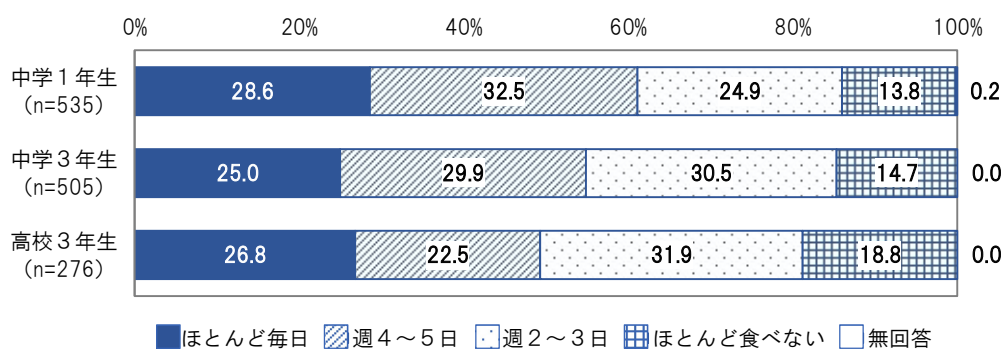
- 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の頻度は、「ほとんど毎日」が最も高く、特に高校3年生では71.4%と7割を超えている。



(8) 1日350g以上の野菜の摂取状況 ※中学生・高校生のみ

中高問 19 あなたは、1日350g以上(両手山盛りいっぱい)の野菜を食べていますか。(〇は1つだけ)

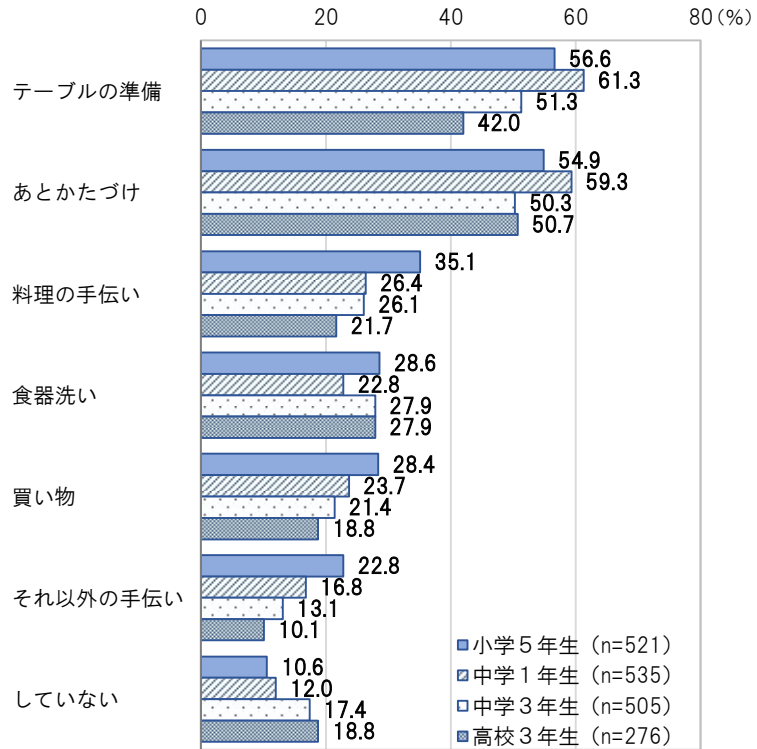
- 1日350g以上の野菜の摂取状況は、中学1年生では「週4～5日」、中学3年生・高校3年生では「週2～3日」が最も高くなっている。
- また、学年が上がるにつれて『3日以下』が高くなっており、高校3年生では約半数を占めている。



(9) 家での食事の手伝い

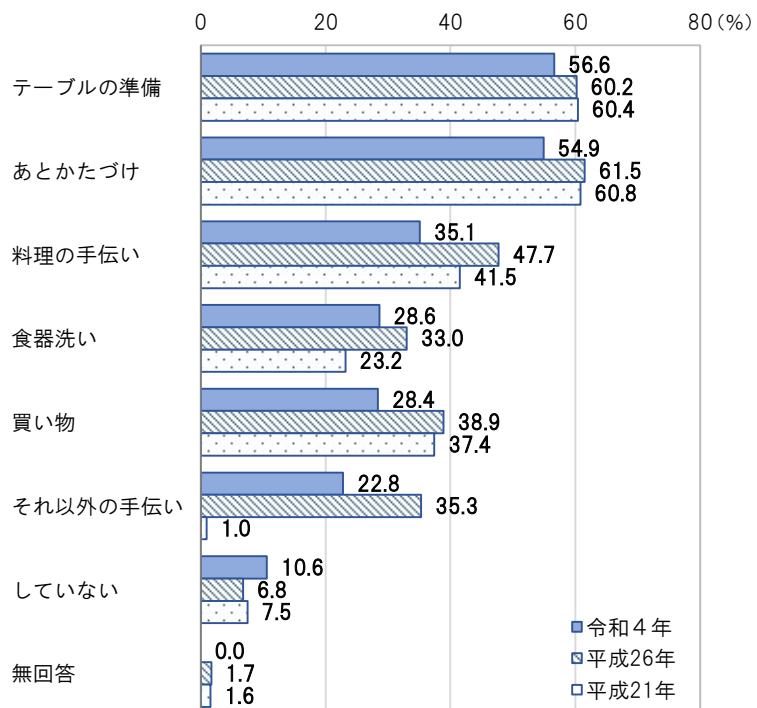
小問17・中高問20 あなたは、家で食事の手伝いをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- 家での食事の手伝いは、小学生・中学生では「テーブルの準備」、高校3年生では「あとかたづけ」が最も高くなっている。
- また、学年が上がるにつれて「料理の手伝い」や「買い物」、「それ以外の手伝い」の割合が低くなっており、一方で「していない」が高くなっている。



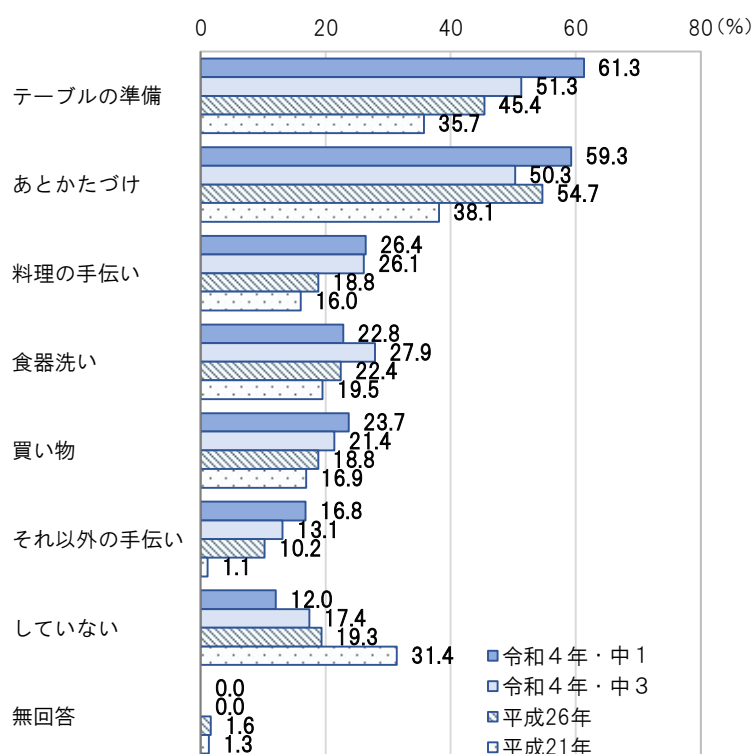
《経年比較（小学生）》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 経年で比較すると、小学生では平成26年調査に比べてすべての項目で減少しており、「していない」が増えている。



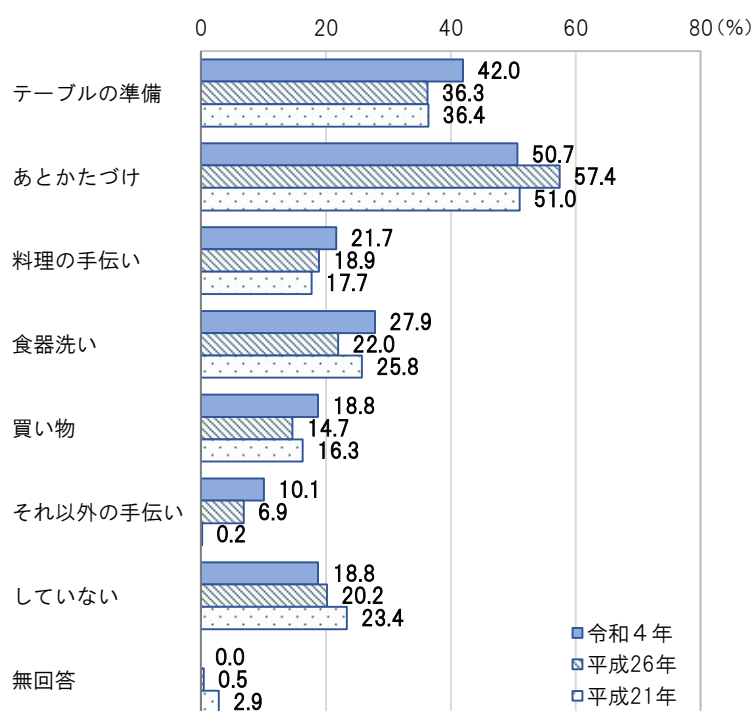
《経年比較（中学生）》※平成 21 年調査、平成 26 年調査は「食育市民アンケート調査」

- 経年で比較すると、中学 1 年生・3 年生ともに、「テーブルの準備」や「料理の手伝い」、「買い物」などで年々高くなっている。また、中学 1 年生では「あとかたづけ」も高くなっている。



《経年比較（高校生）》※平成 21 年調査、平成 26 年調査は「食育市民アンケート調査」

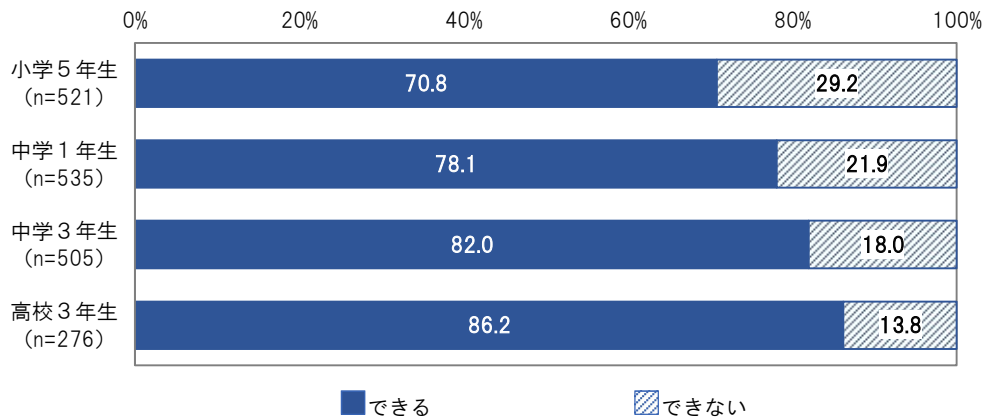
- 経年で比較すると、高校生では平成 26 年調査に比べると、「テーブルの準備」や「料理の手伝い」、「食器洗い」、「買い物」などで高くなっている。特に、「料理の手伝い」では年々高くなっている。



(10) 自分で簡単な料理をつくること

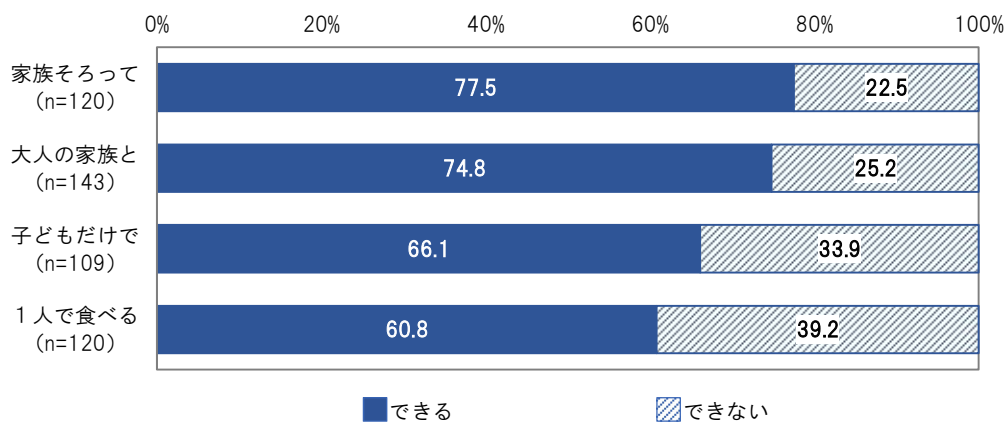
小問 17・中高問 21 あなたは、家で包丁や火を使うなど、自分だけで簡単な料理（卵焼き、野菜炒め、お味噌汁など）を作ることができますか。（○は1つだけ）

- 自分で簡単な料理をつくることは、すべての学年で「できる」が大半を占めている。特に学年が上がるにつれて高くなっており、高校3年生では86.2%となっている。



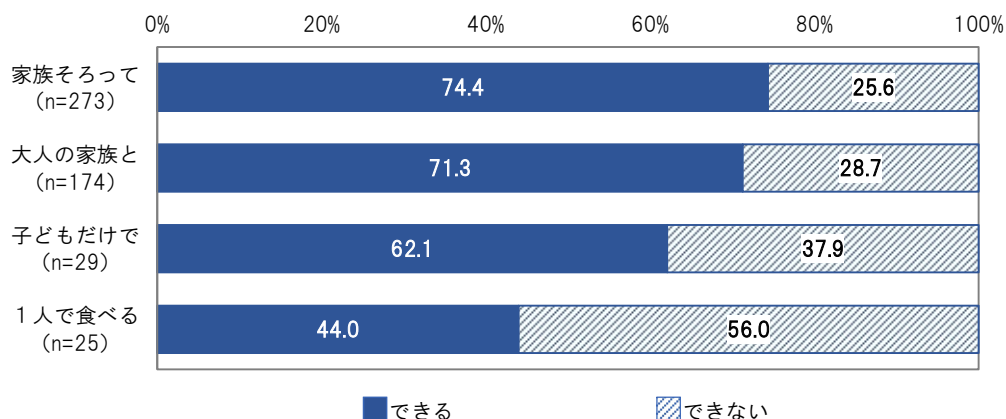
《朝食の共食状況別（小学生のみ）》

- 小学生の料理について、朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”食べる層では「できる」が8割近くを占めて最も高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では約6割となっている。



《夕食の共食状況別（小学生のみ）》

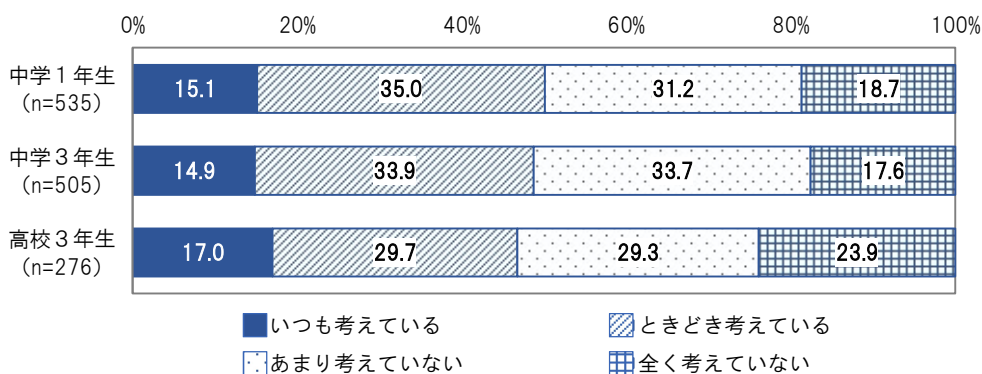
- 小学生の料理について、夕食の共食状況別にみると、“家族そろって”食べる層では「できる」が7割を超えて最も高くなっているのに対し、“1人で食べる”層では4割程度となっている。



(11) 食品購入時の品質・安全性などを考えた選択 ※中学生・高校生のみ

中高問 22 あなたは、食品を購入するとき、食品の表示を見るなど、食品の栄養や品質・安全性、産地などを考えながら選びますか。(○は1つだけ)

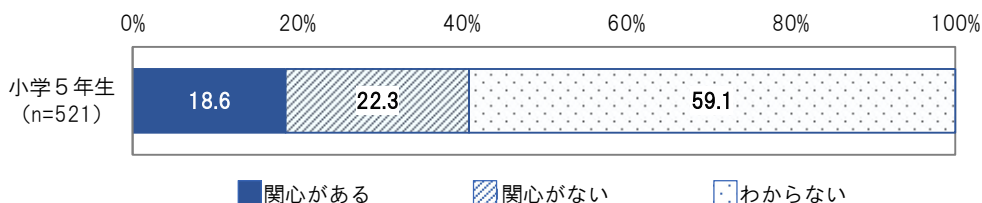
- 食品購入時の品質・安全性などを考えた選択は、すべての学年で「ときどき考えている」が最も高く、「いつも考えている」と合わせた『考えている』は、中学1年生では50.1%、中学3年生では48.8%、高校3年生では46.7%となっており、学年が上がるにつれて低くなっている。



(12) 尼崎の伝統野菜の関心 ※小学生のみ

小問 19 あなたは、尼いも・一寸豆(ソラマメ)・田能のサトイモなど尼崎の伝統野菜について関心がありますか。(○は1つだけ)

- 尼崎の伝統野菜を、「わからない」が59.1%と6割を占めている。
- また、「関心がない」が22.3%であり、「関心がある」(18.6%)をやや上回っている。

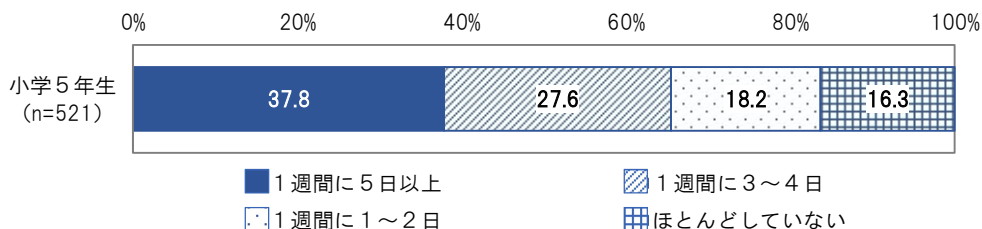


5. 運動習慣について

(1) 学校の授業以外での運動状況 ※小学生のみ

小問6 学校の授業以外で運動（休み時間等の外遊びもふくむ）をしていますか。（○は1つだけ）

- 学校の授業以外での運動状況は、「1週間に5日以上」が37.8%と4割近くを占めて最も高く、次いで「1週間に3～4日」（27.6%）、「1週間に1～2日」（18.2%）の順となっており、『週1日以上』が8割を超えている。また、「ほとんどしていない」が16.3%となっている。

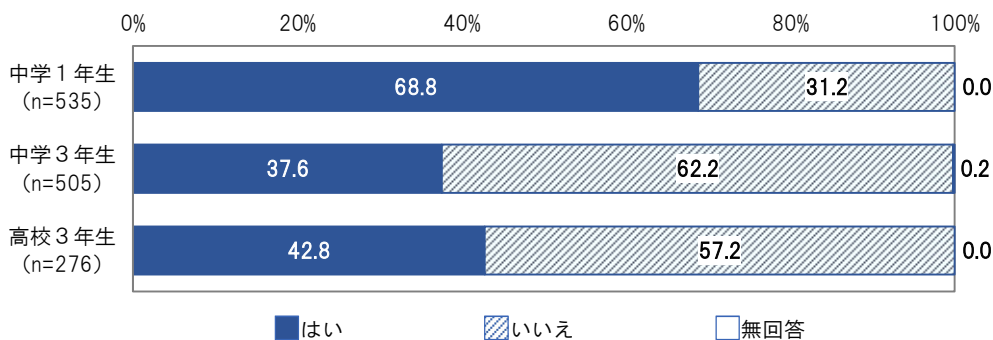


(2) 運動・スポーツの実施状況 ※中学生・高校生のみ

中高問23 ①何か運動やスポーツ（1回30分以上）をしていますか。（○は1つだけ）

※体育の授業をのぞいてください。

- 運動・スポーツの実施状況は、中学1年生では「はい（している）」が68.8%と7割近くを占めているのに対し、中学3年生では37.6%、高校3年生では42.8%とともに4割程度となっている。

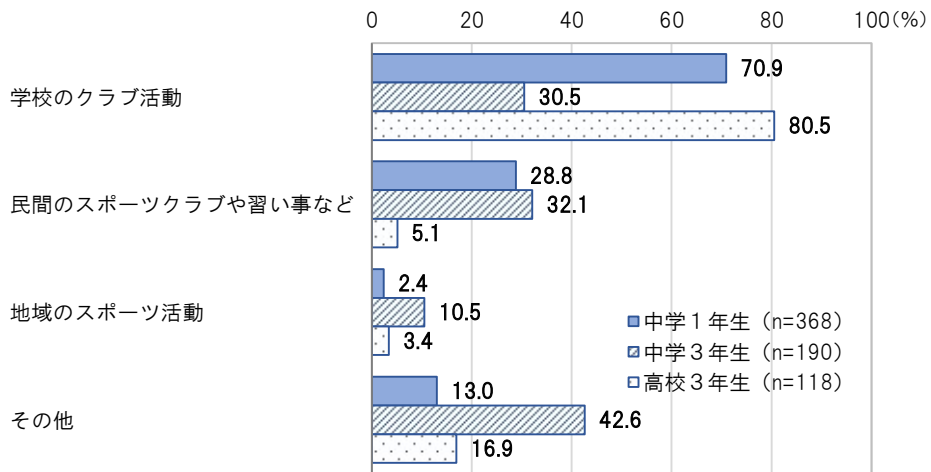


(2) -① 運動・スポーツの実施場所 ※中学生・高校生のみ

※(2)で「はい」と回答した人のみ

中高問 23 ②運動やスポーツをどこでしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- 運動・スポーツの実施場所は、中学1年生・高校3年生では「学校のクラブ活動」が最も高く、中学3年生では「民間のスポーツクラブや習い事など」が高くなっている。
- また、「地域のスポーツ活動」はすべての学年で低くなっている。

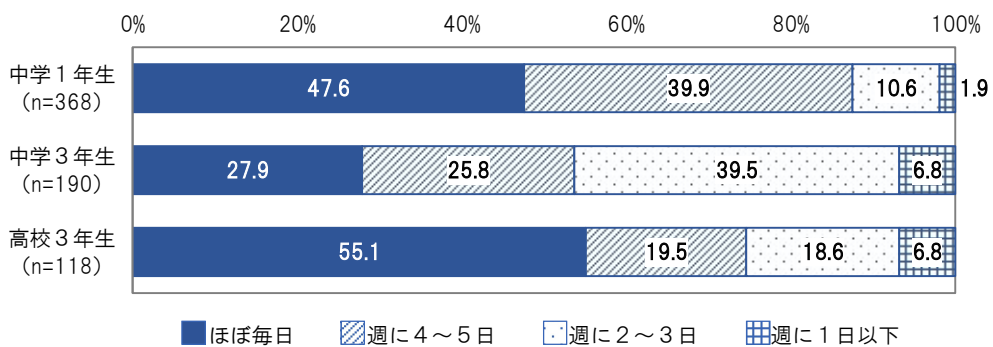


(2) -② 運動・スポーツの実施頻度 ※中学生・高校生のみ

※(2)で「はい」と回答した人のみ

中高問 23 ③その運動・スポーツは1週間にどのくらいしていますか。(○は1つだけ)

- 運動・スポーツの実施頻度は、中学1年生・高校3年生では「ほぼ毎日」が最も高く、中学3年生では「週に2～3日」が最も高くなっている。

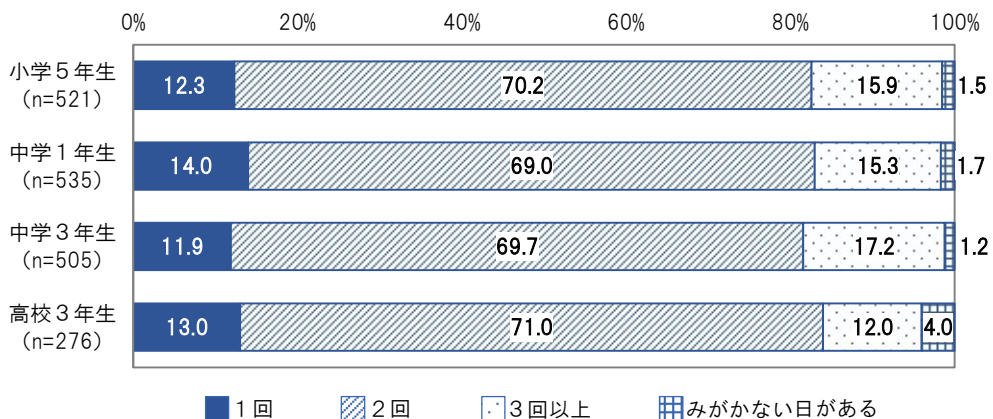


6. 歯の健康について

(1) 1日あたりの歯みがき回数

小問7・中高問24 1日に何回歯をみがきますか。(○は1つだけ)

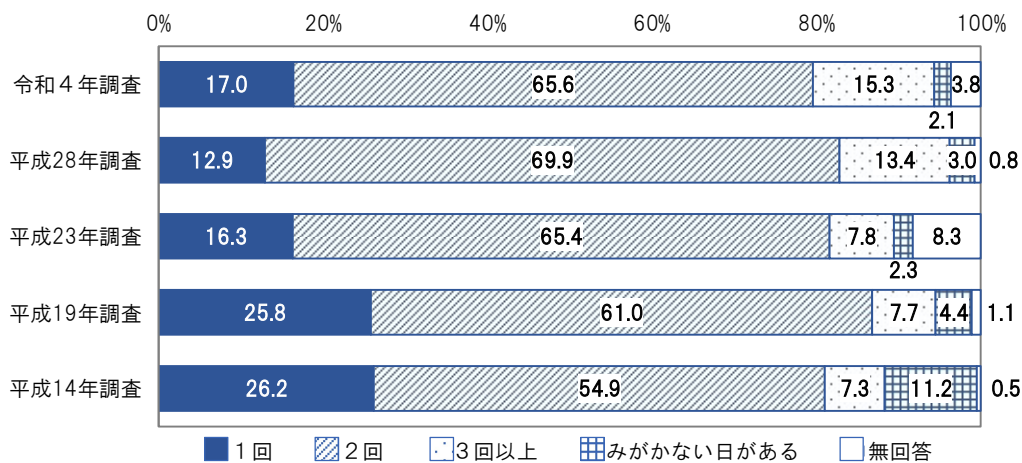
・1日あたりの歯みがき回数は、すべての学年で「2回」が7割程度を占めて最も高くなっている。



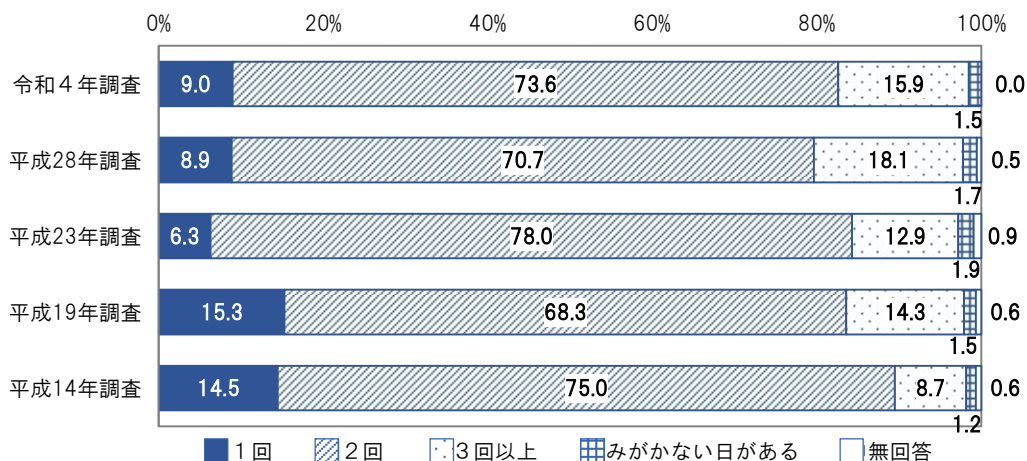
《経年比較（中学生・高校生のみ）》

・性別に経年で比較すると、男子では「3回以上」が年々増加傾向となっているのに対し、女子では平成28年調査と比べて「2回」がやや増加している。

男子



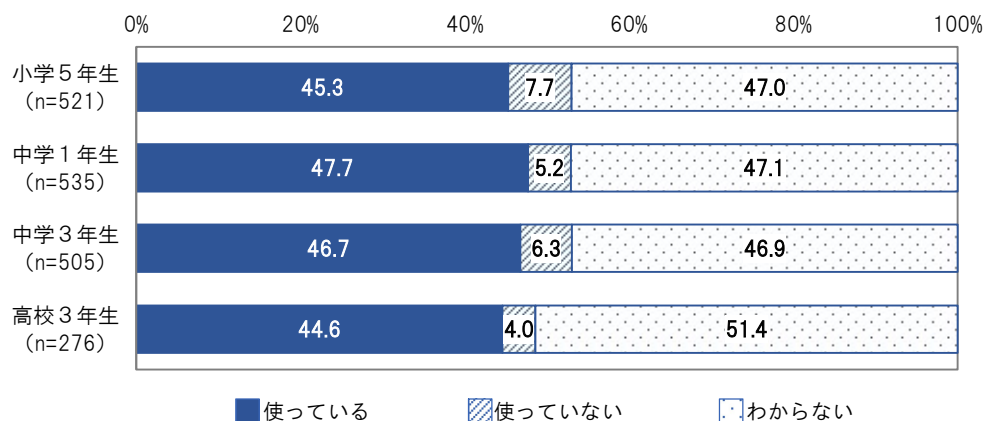
女子



(2) フッ素入り歯みがき剤の使用状況

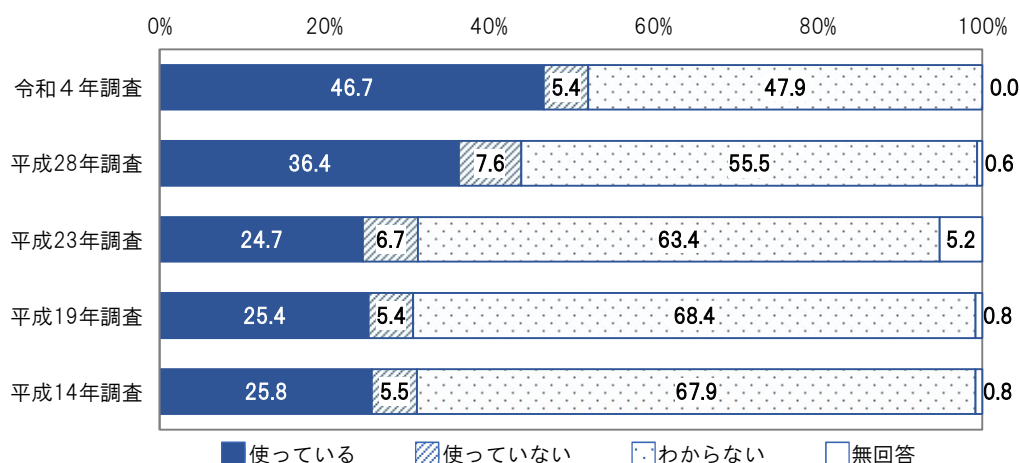
小問8・中高問25 フッ素が入った歯みがき剤を使っていますか。(○は1つだけ)

- フッ素入り歯みがき剤の使用状況は、すべての学年で「使っている」が4割を超えており、大きな差異はみられない。



《経年比較 (中学生・高校生のみ)》

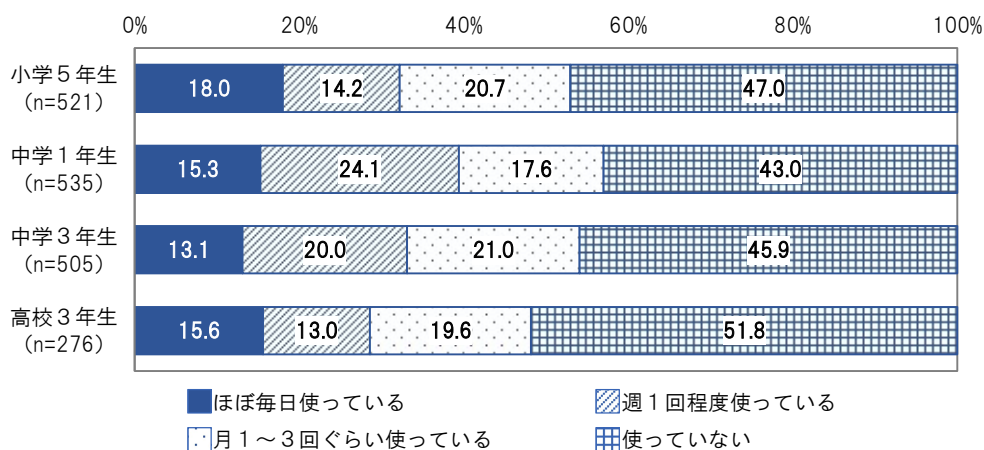
- 経年で比較すると、「使っている」が年々増加傾向となっている。



(3) 歯間部清掃用具の使用状況

小問9・中高問26 歯ブラシ以外に、糸ようじ（デンタルフロス）や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための用具を使っていますか。（○は1つだけ）

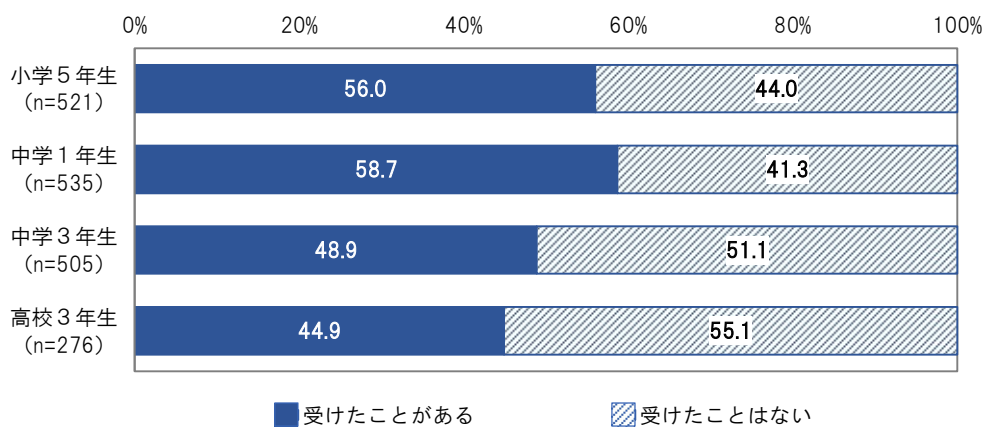
- 歯間部清掃用具の使用状況は、すべての学年で「使っていない」が最も高くなっており、特に高校3年生では半数を超えている。また、「ほぼ毎日使っている」と「週1回程度使っている」を合わせた『週1回以上使っている』が中学1年生で約4割と、他の学年に比べて高くなっている。



(4) 歯の専門家の歯みがきの指導

小問10・中高問27 過去1年以内に、歯の専門家（歯科医師など）から、歯のみがき方などの指導を受けたことがありますか。（○は1つだけ）

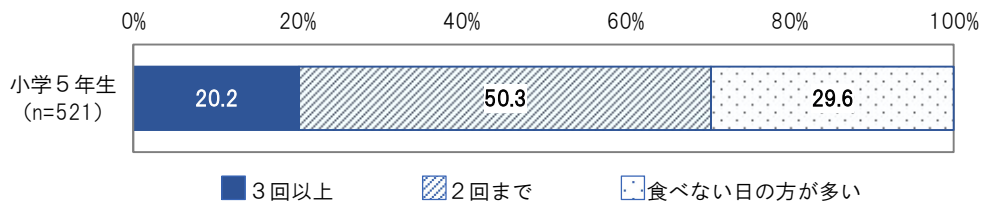
- 歯の専門家の歯みがきの指導は、小学5年生・中学1年生では「受けたことがある」が半数を超え、「受けたことはない」を上回っている。
- また、中学3年生・高校3年生では「受けたことはない」が半数を超え、「受けたことがある」を上回っている。



(5) 1日のおやつ回数 ※小学生のみ

小問 11 ジュースやスポーツ飲料を含めて、おやつ回数は1日何回ですか。(○は1つだけ)

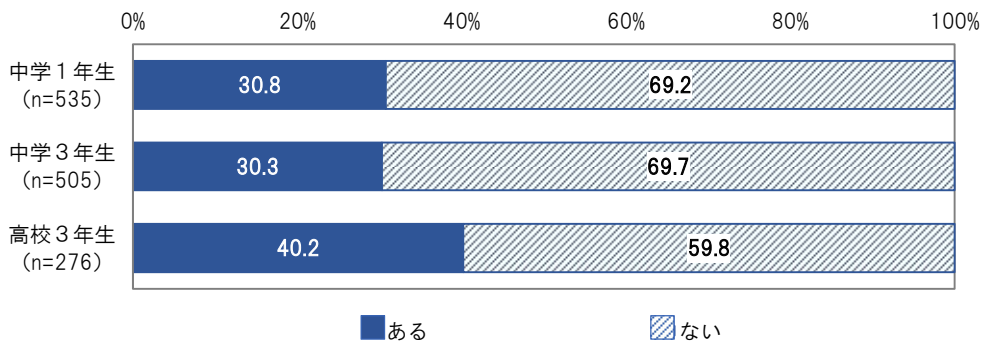
- 1日のおやつ回数は、「2回まで」が 50.3%と約半数を占めて最も高くなっている。次いで、「食べない日の方が多い」が 29.6%と約3割、「3回以上」が 20.2%と約2割となっている。



(6) お口の中で気になることの有無 ※中学生・高校生のみ

中高問 28 ①お口の中で、気になることはありますか。(○は1つだけ)

- お口の中で気になることは、すべての学年で「ない」が「ある」を上回っているものの、高校3年生では「ある」が 40.2%と約4割を占め、その他の学年に比べて高くなっている。

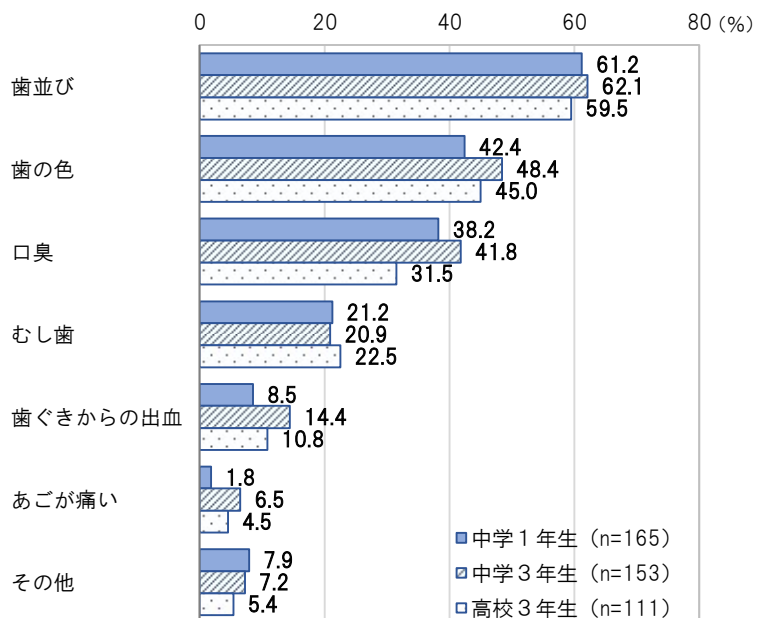


(6) -① お口の中で気になることの内容 ※中学生・高校生のみ

※ (6) で「ある」と回答した人のみ

中高問 28 ②何が気になりますか。(○はあてはまるものすべて)

- お口の中で気になることの内容は、すべての学年で「歯並び」が6割程度を占めて最も高く、次いで「歯の色」、「口臭」の順となっている。

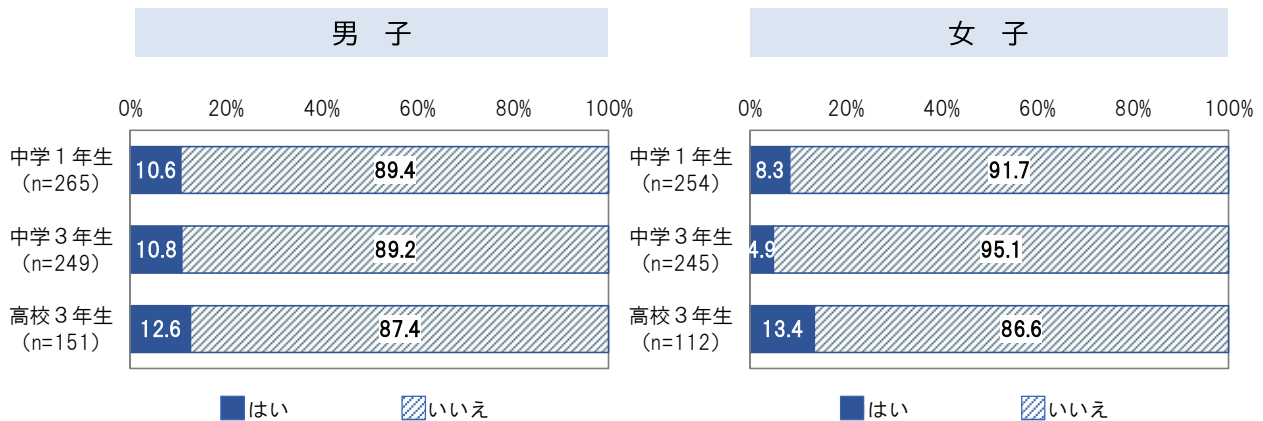


7. お酒（アルコール）について ※中学生・高校生のみ

(1) 飲酒の経験

中高問 29 ①あなたは、お酒やビール、チューハイなどのアルコールを飲んだことがありますか。
(○は1つだけ)

- ・飲酒の経験は、すべての学年で男子・女子ともに「いいえ（ない）」が9割程度を占めている。
- ・「はい（ある）」は、男子ではすべての学年で1割程度となっているのに対し、女子では高校3年生で13.4%と1割を超えている。

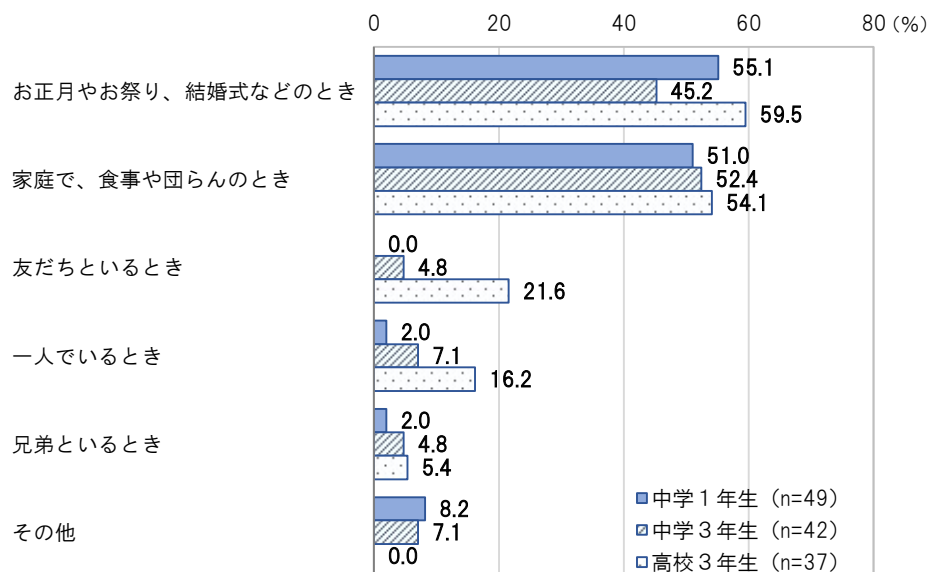


(1) -① 飲酒した場面

※ (1) で「はい」と回答した人のみ

中高問 29 ②どんなときにお酒を飲みましたか。(○はあてはまるものすべて)

- ・飲酒した場面は、中学1年生・高校3年生では「お正月やお祭り、結婚式などのとき」、中学3年生では「家庭で、食事や団らんのとき」が最も高くなっている。
- ・また、学年が上がるにつれて「友だちといるとき」や「一人有的时候き」が高くなっており、特に「友だちといるとき」が高校3年生で2割を超えている。

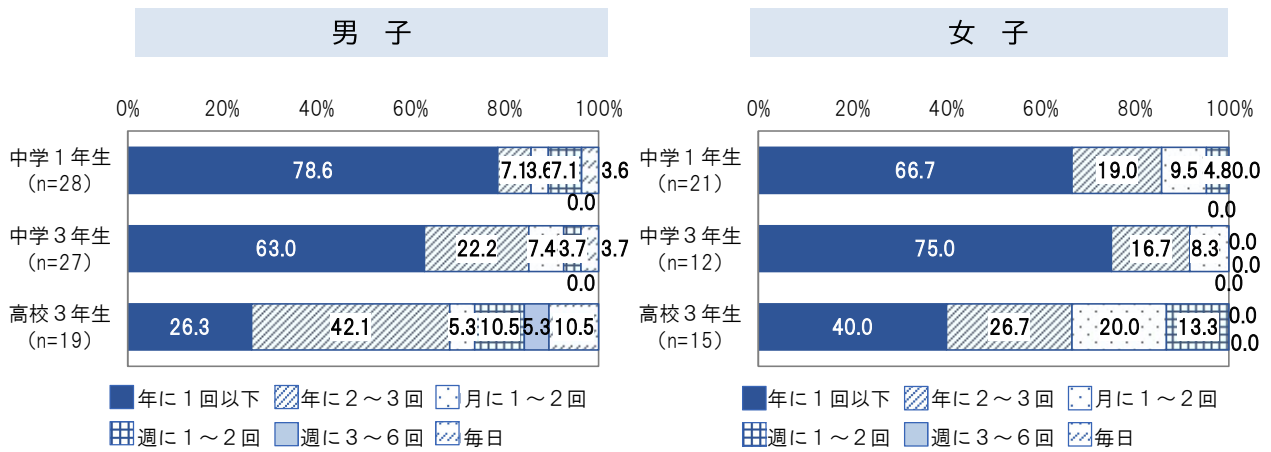


(1) -② 飲酒の頻度

※ (1) で「はい」と回答した人のみ

中高問 29 ③どのくらい飲みましたか (飲んでいますか)。(○は1つだけ)

- 飲酒の頻度は、男子・女子ともに中学1年生・中学3年生では「年に1回以下」が最も高くなっているのに対し、高校3年生では女子では「年に1回以下」、男子では「年に2～3回」が最も高くなっている。
- また、男子では学年が上がるにつれて「週に3～6回」や「毎日」が高くなっており、『週に3回以上』で飲酒が習慣化している人が高校3年生で1割を超えている。

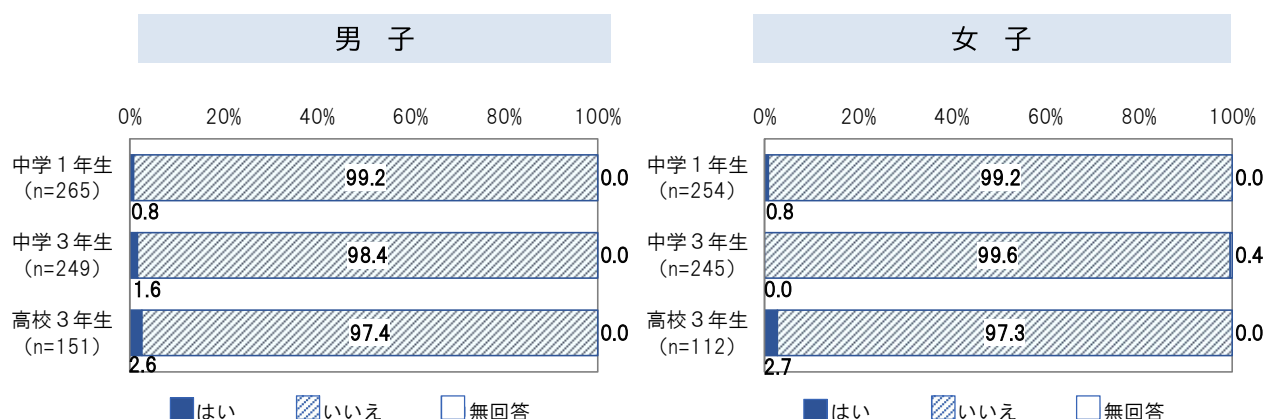


8. たばこについて ※中学生・高校生のみ

(1) 喫煙の経験

中高問 30 ①あなたは、たばこを吸ったことがありますか。(○は1つだけ)

- ・喫煙の経験は、すべての学年で男子・女子ともに「いいえ(ない)」が100%近くを占めている。
- ・「はい(ある)」は、男子では、中学1年生で0.8%、中学3年生で1.6%、高校3年生で2.6%と、学年が上がるにつれてやや高くなっている。
- ・女子では、中学1年生で0.8%、中学3年生で0.0%、高校3年生で2.7%となっている。

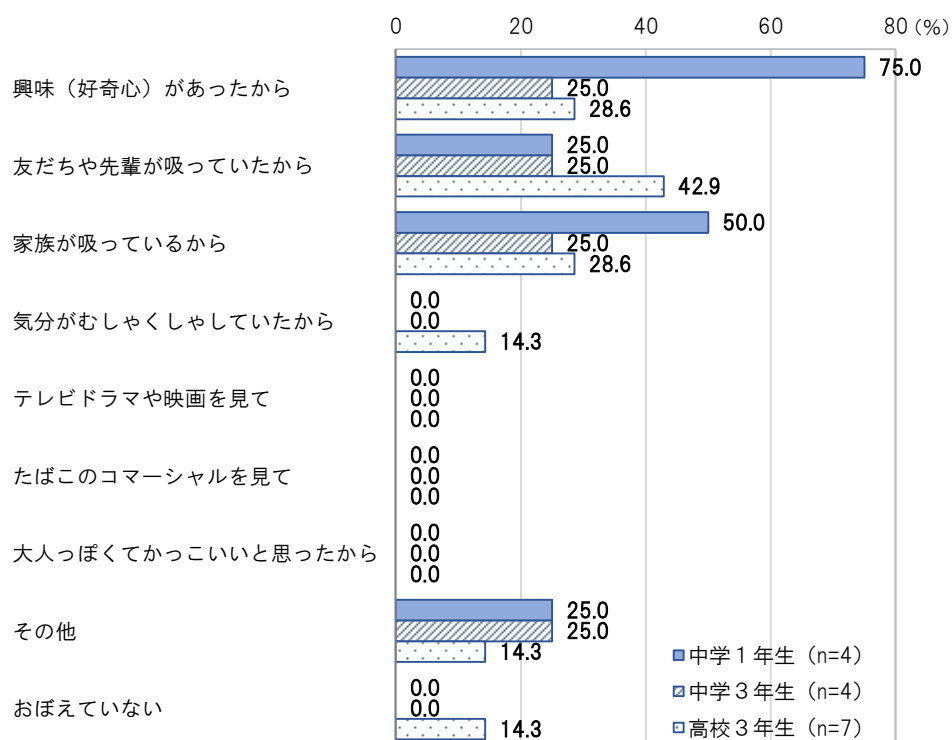


(1) -① 喫煙のきっかけ

※(1)で「はい」と回答した人のみ

中高問 30 ②どんなきっかけでたばこを吸いましたか。(○はあてはまるものすべて)

- ・喫煙のきっかけは、中学1年生では「興味(好奇心)があったから」や「家族が吸っているから」が高く、高校3年生では「友だちや先輩が吸っていたから」が最も高くなっている。

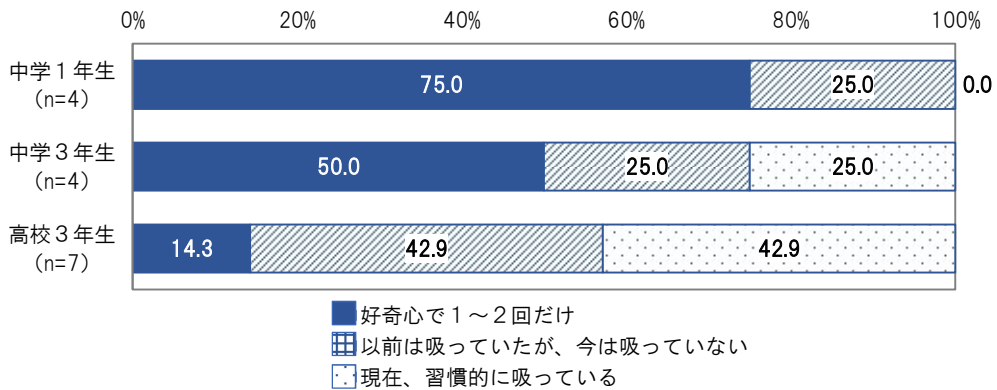


(1) -② 喫煙の頻度

※ (1) で「はい」と回答した人のみ

中高問 30 ③どのくらい吸いましたか。(○は1つだけ)

- 喫煙の頻度は、学年が下がるにつれて「好奇心で1～2回だけ」が高く、学年が上がるにつれて「現在、習慣的に吸っている」が高くなっており、喫煙経験のある高校3年生のうち4割以上が現在も習慣的に喫煙しているとの結果となっている。



(1) -③ 現在の喫煙頻度

※ (1) -②で「現在、習慣的に吸っている」と回答した人のみ

中高問 30 ④現在は、どのくらい吸っていますか。(○は1つだけ)

- 習慣的に喫煙している人(4人)の喫煙頻度は、「毎日、1日1～20本」が3人と多くなっている。

(1) -④ 今後の喫煙意向

※ (1) -②で「現在、習慣的に吸っている」と回答した人のみ

中高問 30 ⑤たばこについて、どうしたいですか。(○は1つだけ)

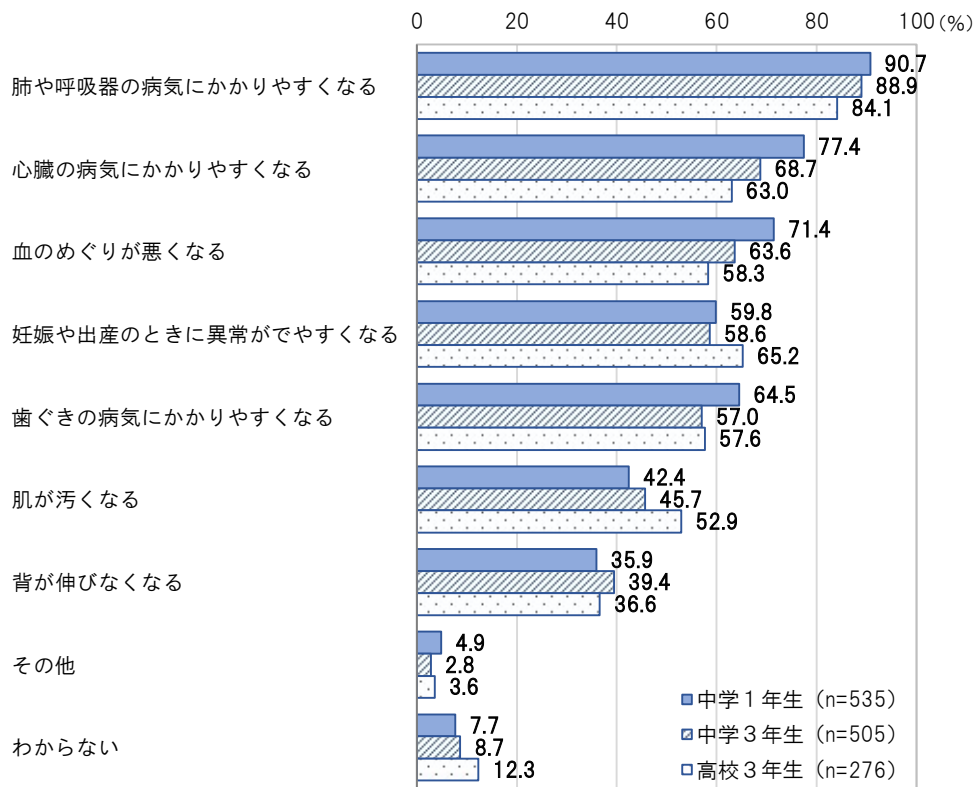
- 習慣的に喫煙している人(4人)の今後の喫煙意向は、「たばこをやめたい」が2人、「今のままでいい(へらすつもりはない)」が2人となっている。

(2) 喫煙による健康への影響の認知度

中高問 31 たばこを吸うことで、どのような影響があると思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 喫煙による健康への影響の認知度は、すべての学年で「肺や呼吸器の病気にかかりやすくなる」が8割を超えて最も高く、次いで、中学生では「心臓の病気にかかりやすくなる」、高校3年生では「妊娠や出産のときに異常がでやすくなる」となっている。
- また、学年が下がるにつれて「肺や呼吸器の病気にかかりやすくなる」や「心臓の病気にかかりやすくなる」、「血のめぐりが悪くなる」などの回答が高く、学年が上がるにつれて「肌が汚くなる」の回答が高くなる傾向がみられる。



《性・学年別》

- 性・学年別にみると、すべての学年で「肺や呼吸器の病気にかかりやすくなる」や「妊娠や出産のときに異常がでやすくなる」などが男子に比べて女子で高くなっている。

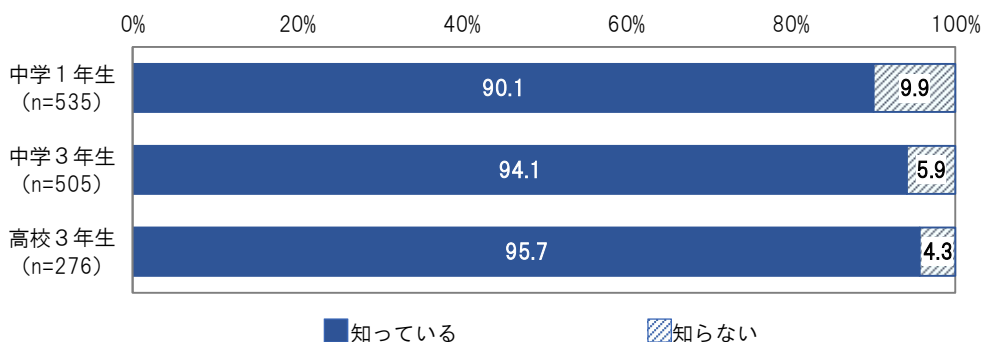
		回答者数 (人)	肺や呼吸器の病気にかかりやすくなる	心臓の病気にかかりやすくなる	血のめぐりが悪くなる	妊娠や出産のときに異常がでやすくなる	歯ぐきの病気にかかりやすくなる	肌が汚くなる	背が伸びなくなる	その他	わからない
中学1年生	男子	265	87.2	75.1	71.3	54.3	59.6	40.4	37.7	7.5	10.6
	女子	254	94.1	79.5	72.0	64.6	69.3	43.7	32.7	1.2	4.7
中学3年生	男子	249	85.9	69.1	65.5	50.6	51.4	42.6	41.4	4.8	12.0
	女子	245	91.8	68.6	61.2	66.9	62.9	49.0	36.7	0.4	5.7
高校3年生	男子	151	76.8	54.3	55.0	57.0	51.7	47.0	31.8	3.3	17.2
	女子	112	95.5	76.8	65.2	78.6	67.0	64.3	43.8	3.6	4.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 受動喫煙でも健康に悪影響が出ることの認知度

中高問 32 喫煙者だけでなく、受動喫煙でも健康に悪影響が出ることを知っていますか。
(○は1つだけ)

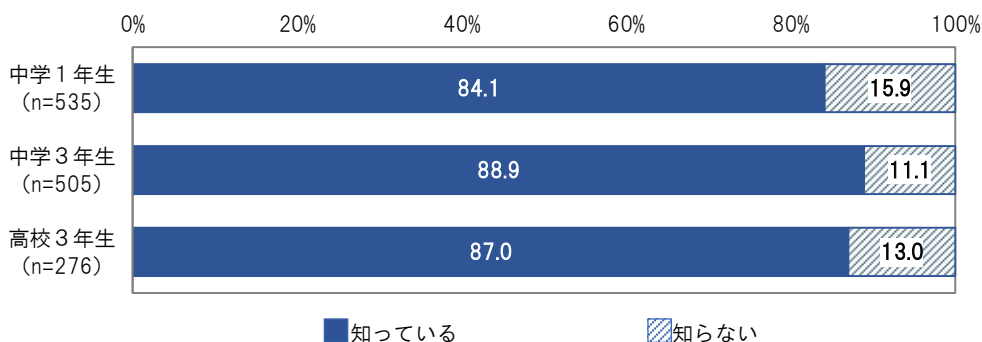
- 受動喫煙でも健康に悪影響が出ることの認知度は、すべての学年で「知っている」が9割を超えており、特に学年が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。



(4) 子どもの受動喫煙が大人よりも体に悪影響が出ることの認知度

中高問 33 子どもがたばこの煙を吸うと、大人よりも体に悪影響が出ることを知っていますか。
(○は1つだけ)

- 子どもの受動喫煙が大人よりも体に悪影響が出ることの認知度は、すべての学年で「知っている」が8割を超えている。
- 「知らない」が中学1年生では15.9%と、その他の学年に比べてやや高くなっている。

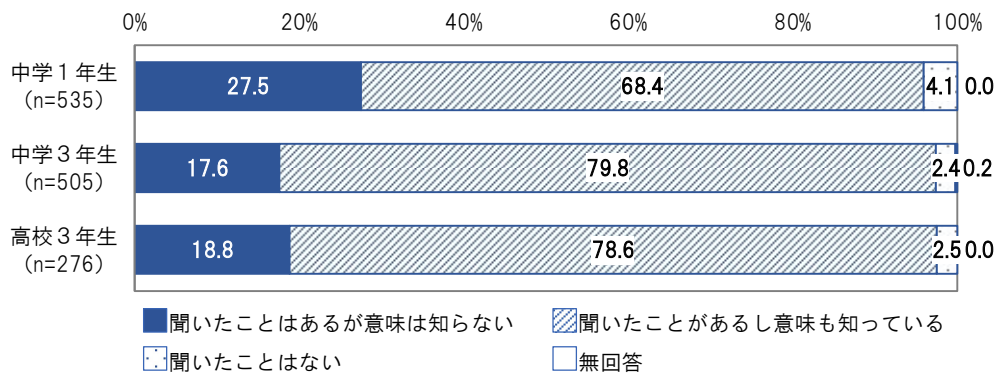


9. 薬物乱用防止について ※中学生・高校生のみ

(1) 薬物乱用の認知度

中高問 34 あなたは「薬物乱用」について、聞いたことがありますか。(○は1つだけ)

- 薬物乱用の認知度は、すべての学年で「聞いたことがあるし意味も知っている」が大半を占めている。
- 一方で、「聞いたことはあるが意味は知らない」が、中学1年生で27.5%と3割近くを占め、その他の学年に比べて高くなっている。

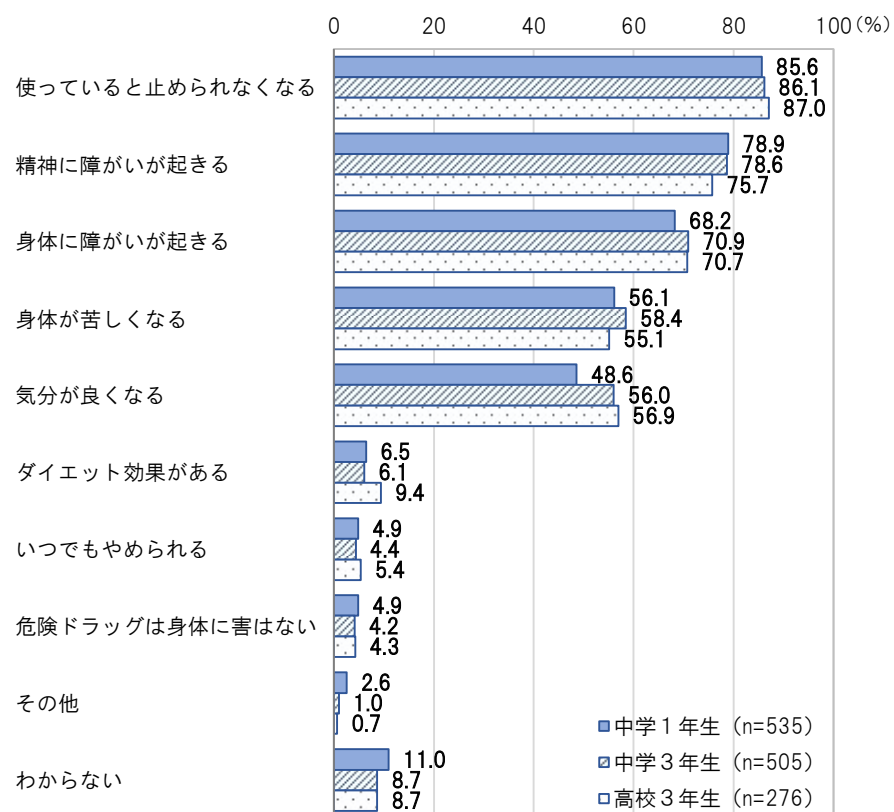


(2) 薬物乱用の有害性の認知度

中高問 35 「薬物乱用」についてあなたはどのように思っていますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 薬物乱用の有害性の認知度は、すべての学年で「使っていると止められなくなる」が9割近くを占めて最も高く、次いで「精神に障がいが出る」、「身体に障がいが出る」の順となっている。

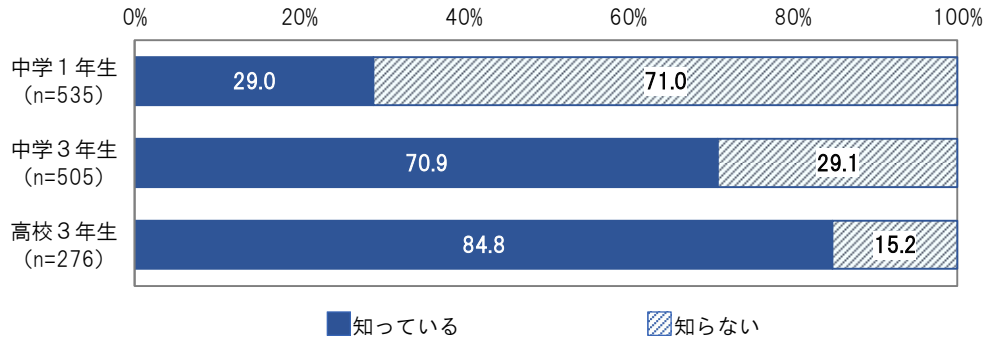


10. 避妊について ※中学生・高校生のみ

(1) 避妊方法の認知度

中高問 36 ①避妊の方法について知っていますか。(○は1つだけ)

- ・避妊方法の認知度は、学年が上がるにつれて「知っている」が高くなっており、中学1年生では約3割となっているのに対し、中学3年生では約7割、高校3年生では8割を超えている。

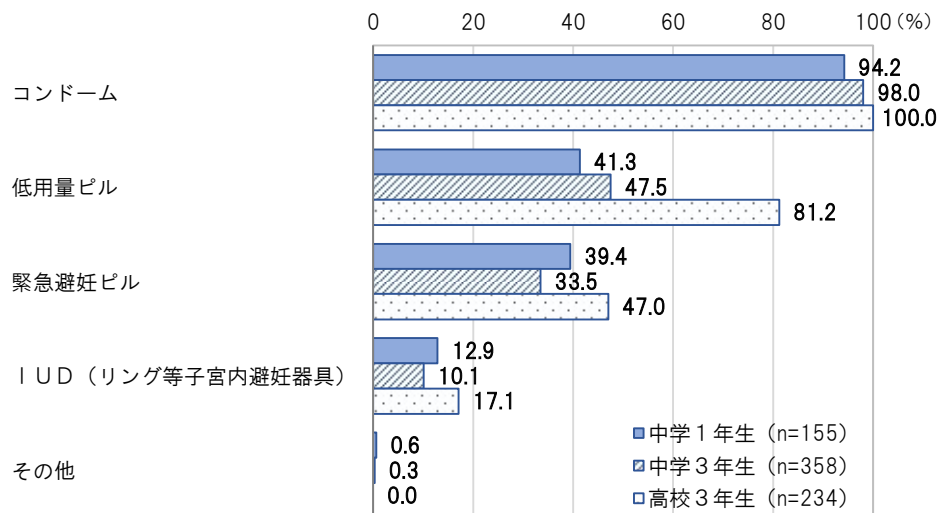


(1) -① 知っている避妊方法

※(1)で「知っている」と回答した人のみ

中高問 36 ②避妊について、次のうちどの方法を知っていますか。(○はあてはまるものすべて)

- ・知っている避妊方法は、すべての学年で「コンドーム」が最も高く、次いで「低用量ピル」、「緊急避妊ピル」の順となっている。
- ・また、「低用量ピル」は、高校3年生では81.2%と8割を超えており、中学生と比べて高くなっている。

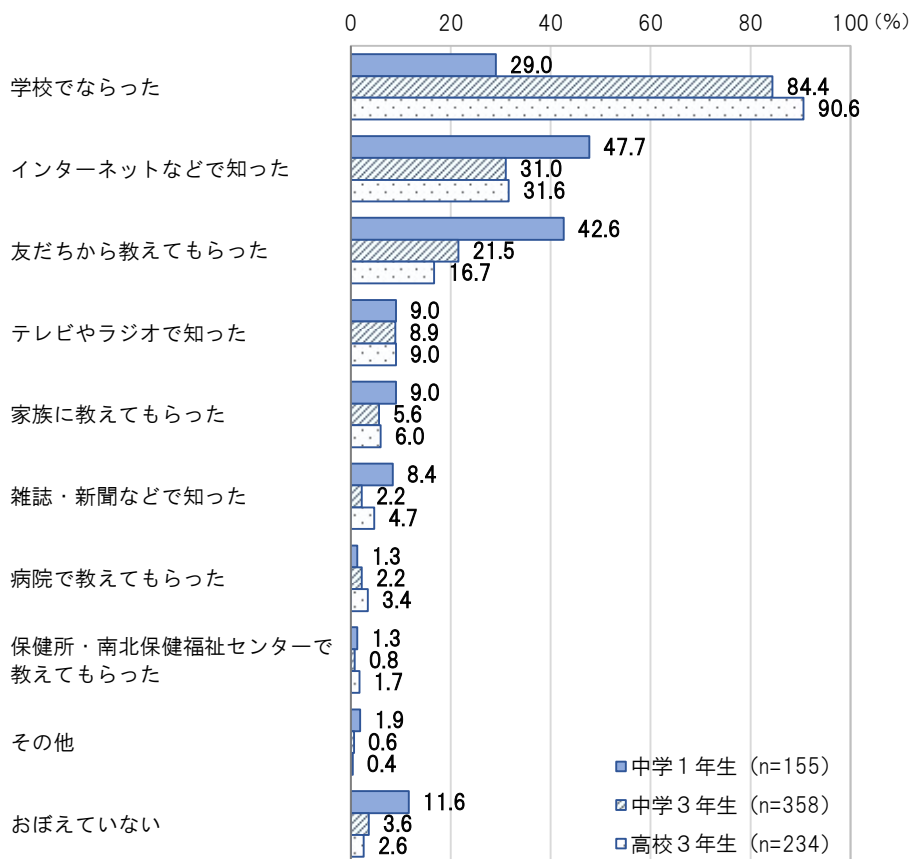


(1) -② 避妊方法を知ったきっかけ

※(1)で「知っている」と回答した人のみ

中高問 36 ③避妊の方法について、どのようにして知りましたか。(○はあてはまるものすべて)

- 避妊方法を知ったきっかけは、中学1年生では「インターネットなどで知った」、中学3年生・高校3年生では「学校でならった」が最も高くなっている。
- また、学年が下がるにつれて「友だちから教えてもらった」が高くなる傾向がみられる。

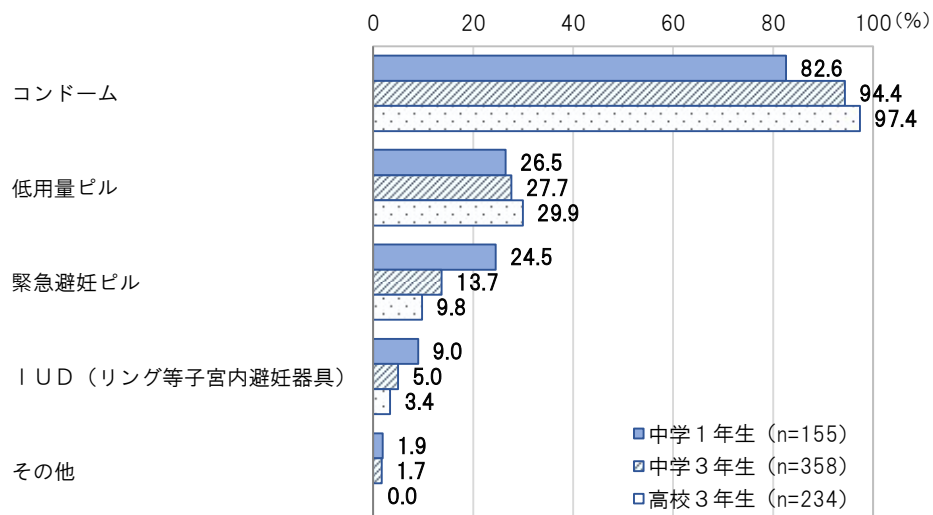


(1) -③ 避妊方法として選択するもの

※(1)で「知っている」と回答した人のみ

中高問 36 ④避妊するとすれば、どの方法を選びますか。(○はあてはまるものすべて)

- 避妊方法として選択するものは、すべての学年で「コンドーム」が最も高く、その他の項目と比べても突出して高くなっている。

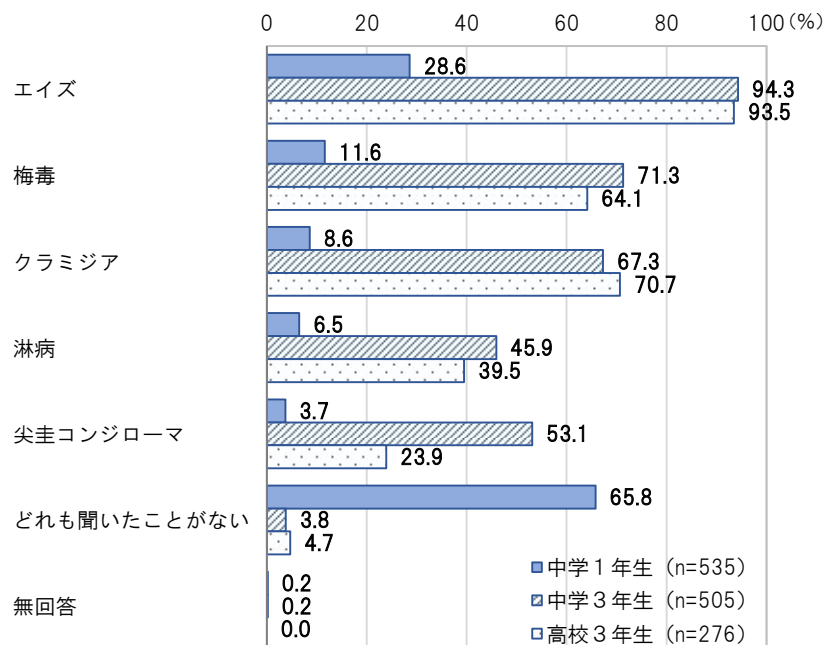


11. 性感染症について ※中学生・高校生のみ

(1) 性感染症の病名の認知度

中高問 37 次のような性感染症の病名を聞いたことがありますか。(○はあてはまるものすべて)

- 性感染症の病名の認知度は、中学3年生・高校3年生では「エイズ」が9割を超えて最も高く、次いで「梅毒」や「クラミジア」が高くなっている。一方、中学1年生では「どれも聞いたことがない」が65.8%と6割を超えて最も高くなっている。



《性別、性・学年別》

- 性・学年別にみると、中学1年女子で「どれも聞いたことがない」が7割近くを占めて高くなっている。

		回答者数 (人)	エイズ	梅毒	クラミジア	淋病	尖圭コンジローマ	どれも聞いたことがない	無回答
性別	男子	665	68.6	44.4	44.7	29.6	27.1	28.6	0.2
	女子	611	65.8	46.6	43.4	27.5	26.4	30.3	0.2
性・学年別	中学1年・男子	265	32.1	12.5	9.4	7.5	3.4	64.2	0.4
	中学1年・女子	254	23.6	10.2	7.5	5.5	3.5	68.9	-
	中学3年・男子	249	94.0	63.5	65.5	42.6	49.4	4.0	-
	中学3年・女子	245	95.1	79.2	69.0	49.4	56.7	3.3	0.4
	高校3年・男子	151	90.7	68.9	72.2	47.0	31.8	6.6	-
	高校3年・女子	112	97.3	58.0	68.8	29.5	11.6	1.8	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

《経年比較》

- ・学年別に経年でみると、中学1年生では「どれも聞いたことがない」が年々高くなる傾向がみられる。
- ・一方で、平成28年調査と比較すると、すべての性・学年で「梅毒」、「クラミジア」、「淋病」、「尖圭コンジローマ」の認知度は高くなっている。

(%)

		回答者数(人)	エイズ	梅毒	クラミジア	淋病	尖圭コンジローマ	どれも聞いたことがない	無回答	
男子	中学1年生	令和4年	265	32.1	12.5	9.4	7.5	3.4	64.2	0.4
		平成28年	295	53.2	4.1	6.8	1.4	2.7	44.1	1.7
		平成23年	150	68.7	4.0	2.7	4.0	0.7	28.7	0.0
		平成19年	—	73.7	3.2	5.8	3.2	—	23.1	2.6
		平成14年	—	68.9	4.1	5.4	5.4	—	29.7	1.4
	中学3年生	令和4年	249	94.0	63.5	65.5	42.6	49.4	4.0	—
		平成28年	292	80.8	19.9	32.2	15.1	10.3	15.4	1.4
		平成23年	128	83.6	25.0	18.8	16.4	15.6	10.9	0.0
		平成19年	—	87.3	7.0	21.0	7.0	—	11.5	1.3
		平成14年	—	87.1	11.3	30.6	11.3	—	6.5	6.5
	高校3年生	令和4年	151	90.7	68.9	72.2	47.0	31.8	6.6	—
		平成28年	210	88.6	30.5	54.8	24.8	12.9	5.7	3.3
		平成23年	109	91.7	19.3	43.1	17.4	9.2	0.9	0.0
		平成19年	—	94.3	23.4	54.6	29.8	—	3.5	2.1
		平成14年	—	91.4	72.9	68.6	70.0	—	5.7	1.4
女子	中学1年生	令和4年	254	23.6	10.2	7.5	5.5	3.5	68.9	—
		平成28年	298	49.0	5.4	7.0	5.4	1.0	47.7	1.0
		平成23年	124	76.6	5.6	6.5	2.4	0.0	21.8	0.0
		平成19年	—	69.9	3.1	5.5	6.7	—	27.6	2.5
		平成14年	—	71.6	1.5	9.0	6.0	—	19.4	9.0
	中学3年生	令和4年	245	95.1	79.2	69.0	49.4	56.7	3.3	0.4
		平成28年	276	83.7	14.1	21.0	10.1	8.7	15.9	0.0
		平成23年	126	94.4	19.0	27.0	15.1	13.5	4.0	0.0
		平成19年	—	90.4	7.0	31.2	7.6	—	6.4	3.2
		平成14年	—	94.5	16.4	41.8	30.9	—	1.8	1.8
	高校3年生	令和4年	112	97.3	58.0	68.8	29.5	11.6	1.8	—
		平成28年	170	94.7	16.5	46.5	14.7	4.1	3.5	0.0
		平成23年	68	94.1	26.5	60.3	22.1	2.9	2.9	0.0
		平成19年	—	96.5	20.3	67.1	29.4	—	0.7	2.8
		平成14年	—	100.0	64.0	78.0	62.0	—	0.0	0.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

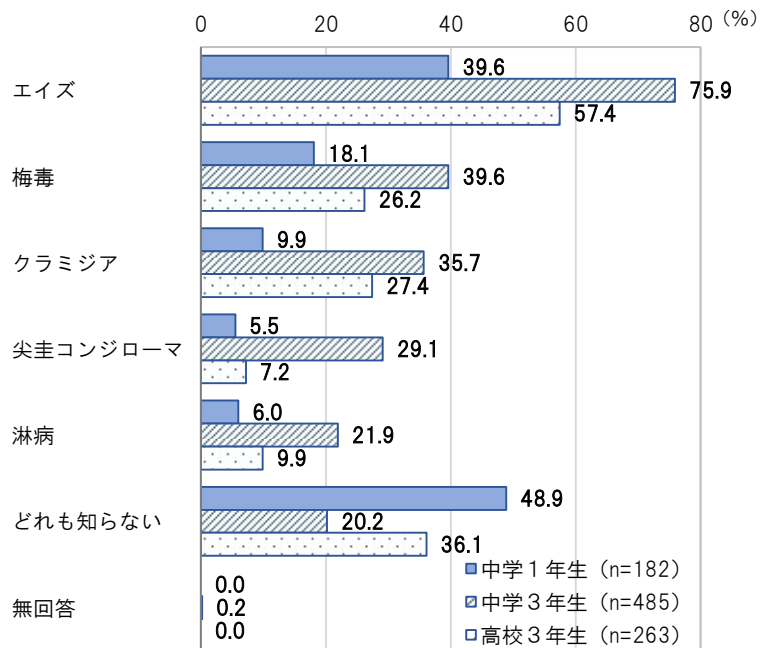
(1) -① 性感染症の症状の認知度

※(1)で「どれも聞いたことがない」と無回答を除いた人のみ

問37で「どれも聞いたことがない」と答えた方以外の方におたずねします。

中高問37-1 問37の性感染症のうち、その病気の症状を知っているものがありますか。症状を知っているものをすべて選んでください。(○はあてはまるものすべて)

- 性感染症の症状の認知度は、中学3年生・高校3年生では「エイズ」が最も高く、次いで「梅毒」や「クラミジア」が高くなっている。一方、中学1年生では「どれも知らない」が48.9%と半数近くを占めて最も高くなっている。

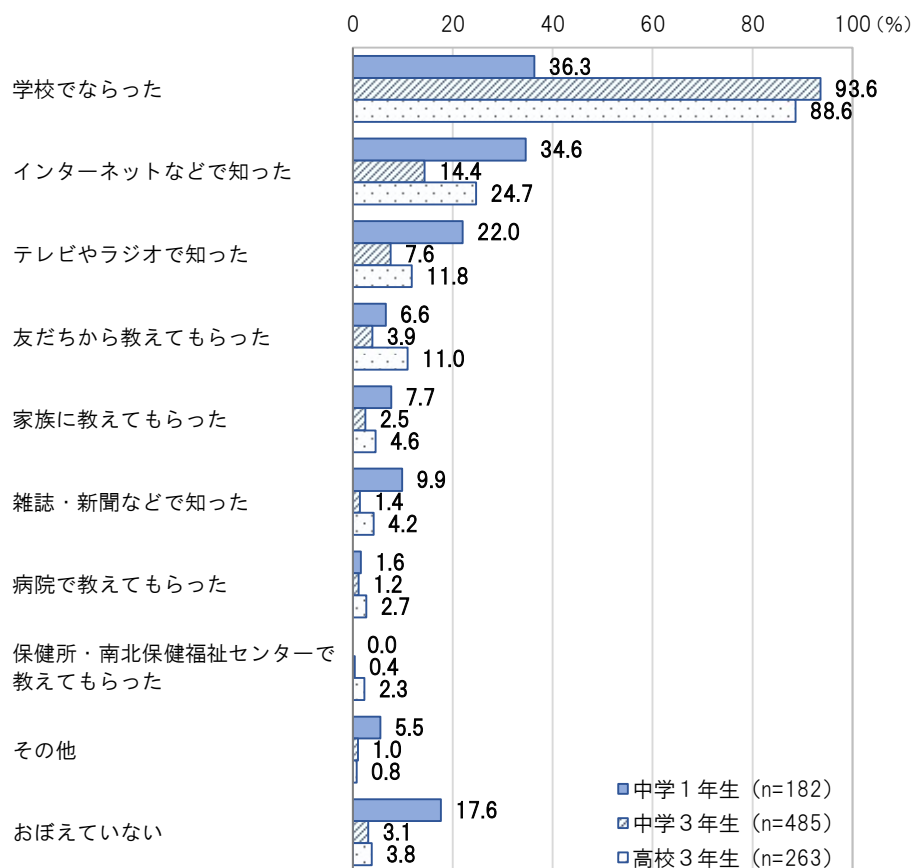


(1) -② 性感染症を知ったきっかけ

※(1)で「どれも聞いたことがない」と無回答を除いた人のみ

問37で「どれも聞いたことがない」と答えた方以外の方におたずねします。
中高問 37-2 性感染症についてどのようにして知りましたか。(○はあてはまるものすべて)

- ・性感染症を知ったきっかけは、すべての学年で「学校でならった」が最も高く、次いで「インターネットなどで知った」、「テレビやラジオで知った」の順となっている。

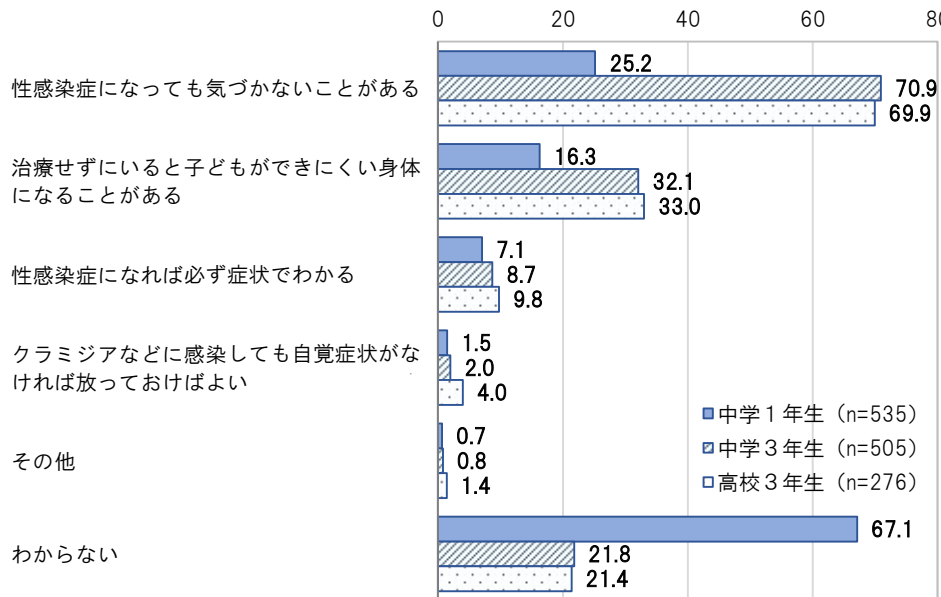


(2) 性感染症についての認識

中高問 38 性感染症について、あなたはどのように思っていますか。

(○はあてはまるものすべて)

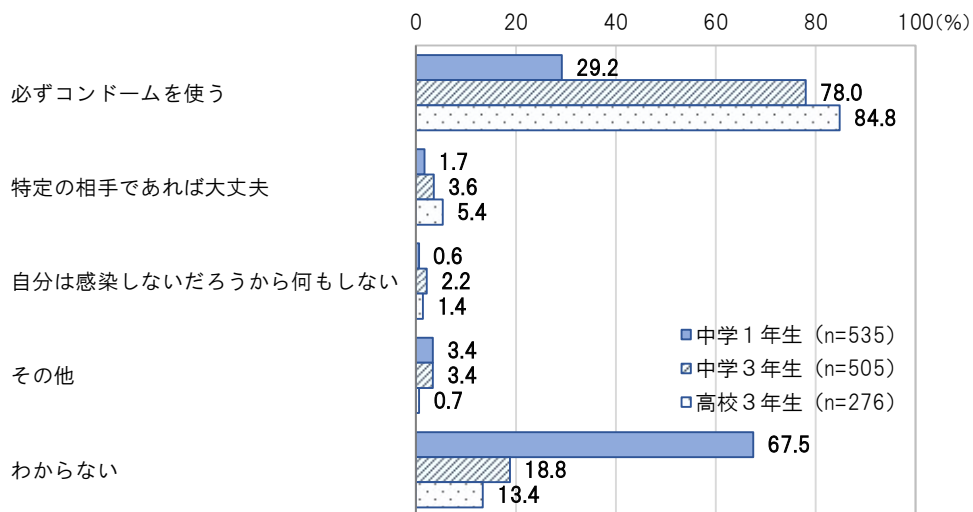
- 性感染症についての認識は、中学1年生では「わからない」が67.1%と7割近くを占めて最も高くなっている。
- 中学3年生・高校3年生では「性感染症になっても気づかないことがある」が約7割を占めて最も高く、次いで「治療せずにいると子どもができにくい身体になることがある」となっている。



(3) 性感染症を予防するための意識

中高問 39 性感染症を防ぐためにあなたはどのように考えますか。(○は1つだけ)

- 性感染症を予防するための意識では、中学1年生では「わからない」が67.5%と7割近くを占めて最も高くなっている。
- 中学3年生・高校3年生では「必ずコンドームを使う」が最も高くなっている。



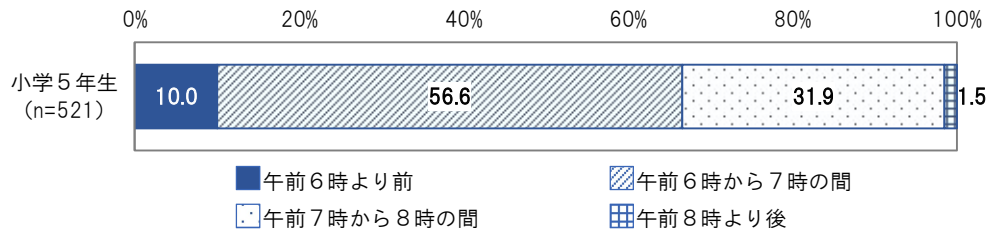
12. 休養・こころの健康について

(1) 平日の起床・就寝時刻 ※小学生のみ

小問5 平日（学校がある日）の起きる時刻とねる時刻は何時ですか。（それぞれ○は1つずつ）

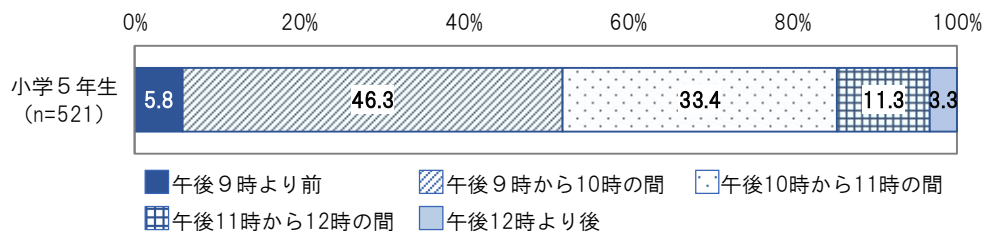
① 起床時刻

- 起床時刻は、「午前6時から7時の間」が56.6%と半数を超えて最も高く、次いで「午前7時から8時の間」（31.9%）、「午前6時より前」（10.0%）の順となっている。



② 就寝時刻

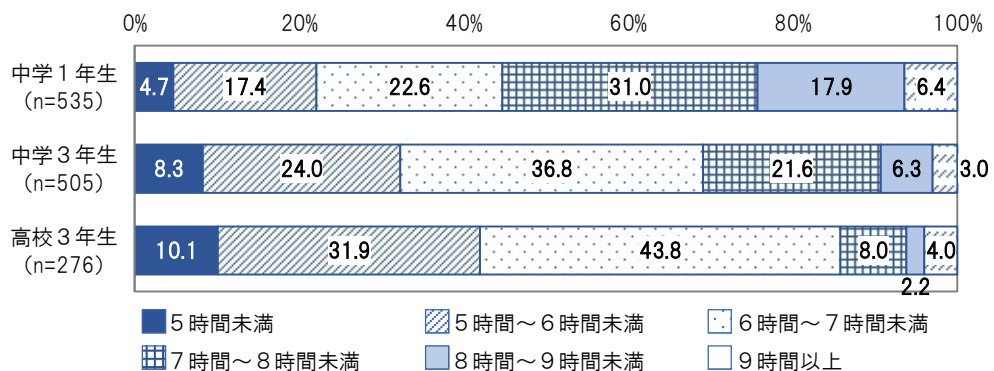
- 就寝時刻は、「午後9時から10時の間」が46.3%と4割を超えて最も高く、次いで「午後10時から11時の間」（33.4%）、「午後11時から12時の間」（11.3%）の順となっている。



(2) 1日あたりの平均睡眠時間 ※中学生・高校生のみ

中高問40 1日の睡眠時間は平均してどのくらいですか。（○は1つだけ）

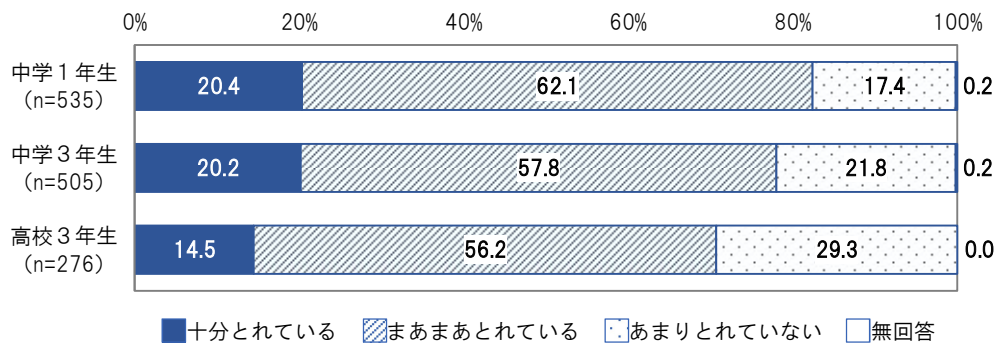
- 1日あたりの平均睡眠時間は、中学1年生では「7時間～8時間未満」、中学3年生・高校3年生では「6時間～7時間未満」が最も高くなっている。
- 学年が上がるにつれて「5時間未満」や「5時間～6時間未満」が高くなっており、睡眠時間が短くなる傾向がみられる。



(3) 睡眠による疲労回復の状況 ※中学生・高校生のみ

中高問 41 睡眠によって、疲れがとれていますか。(○は1つだけ)

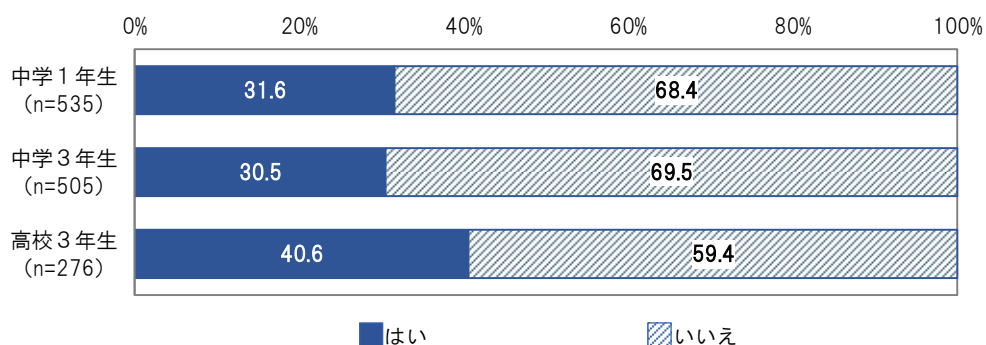
- 睡眠による疲労回復の状況は、すべての学年で「まあまあとれている」が最も高く、「十分とれている」を合わせた『とれている』が大半を占めている。また、その割合は学年が下がるにつれて高くなっており、中学1年生は8割を超えている。
- また、学年が上がるにつれて「あまりとれていない」が高くなっており、高校3年生では約3割となっている。



(4) 最近1年以内で、こころの不調を感じたことの有無 ※中学生・高校生のみ

中高問 42 ①最近1年以内で、こころの不調を感じたことがありますか。(○は1つだけ)

- 最近1年以内で、こころの不調を感じたことは、すべての学年で「いいえ(ない)」が「はい(ある)」を上回っており、特に中学1年生・中学3年生では「いいえ(ない)」が約7割を占めている。
- また、高校3年生では中学生に比べて「はい(ある)」が高くなっており、約4割となっている。

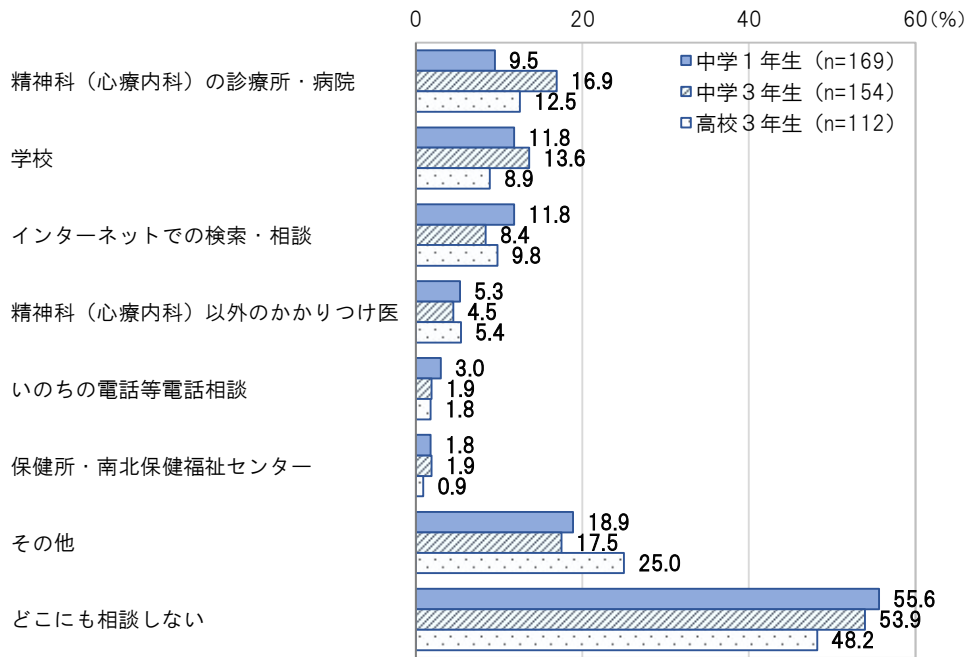


(4) -① こころの不調を感じたときの相談先 ※中学生・高校生のみ

※(4)で「はい」と回答した人のみ

中高問 42 ②こころの不調を感じたとき、どこに相談しようと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

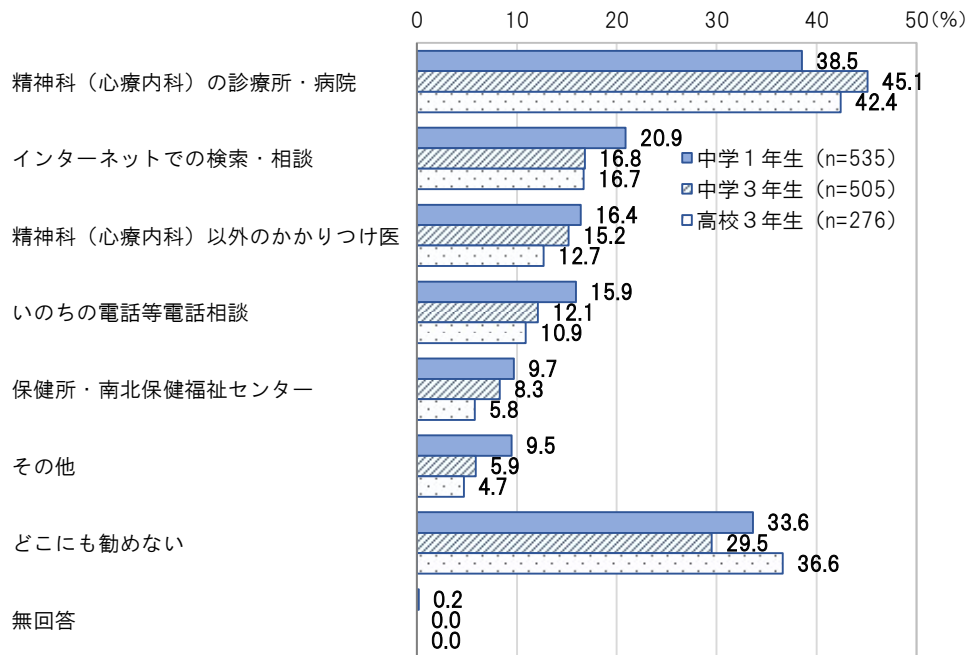
- こころの不調を感じたときの相談先は、すべての学年で「どこにも相談しない」が最も高く、特に中学1年生・中学3年生では半数を超えて高くなっている。
- 知っている相談先では、中学1年生では「学校」や「インターネットでの検索・相談」、中学3年生・高校3年生では「精神科（心療内科）の診療所・病院」が最も高くなっている。



(5) 家族や身近な人のこころの不調に気づいたときに勧める相談先 ※中学生・高校生のみ

中高問 43 ご家族や身近な人のこころの不調に気づいたとき、どこに相談することを勧めますか。(○はあてはまるものすべて)

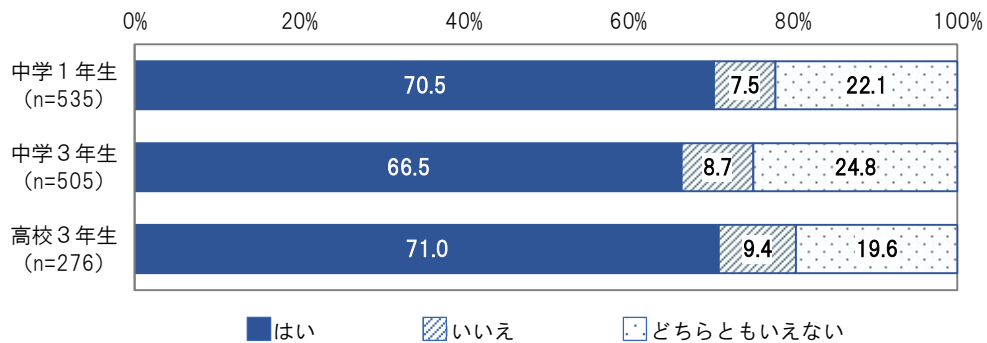
- ・家族や身近な人のこころの不調に気づいたときに勧める相談先は、すべての学年で「精神科（心療内科）の診療所・病院」が最も高くなっている。
- ・また、「どこにも勧めない」が3割程度を占めて高くなっている。



(6) 相談相手の有無 ※中学生・高校生のみ

中高問 44 日ごろ、自分の気持ちや悩みを打ち明けたり、相談したりできる人がいますか。(○は1つだけ)

- ・相談相手の有無は、すべての学年で「はい（いる）」が7割程度を占めている。
- ・また、学年が上がるにつれて「いいえ（いない）」がやや高くなっている。



13. 新型コロナウイルス感染症による変化などについて ※中学生・高校生のみ

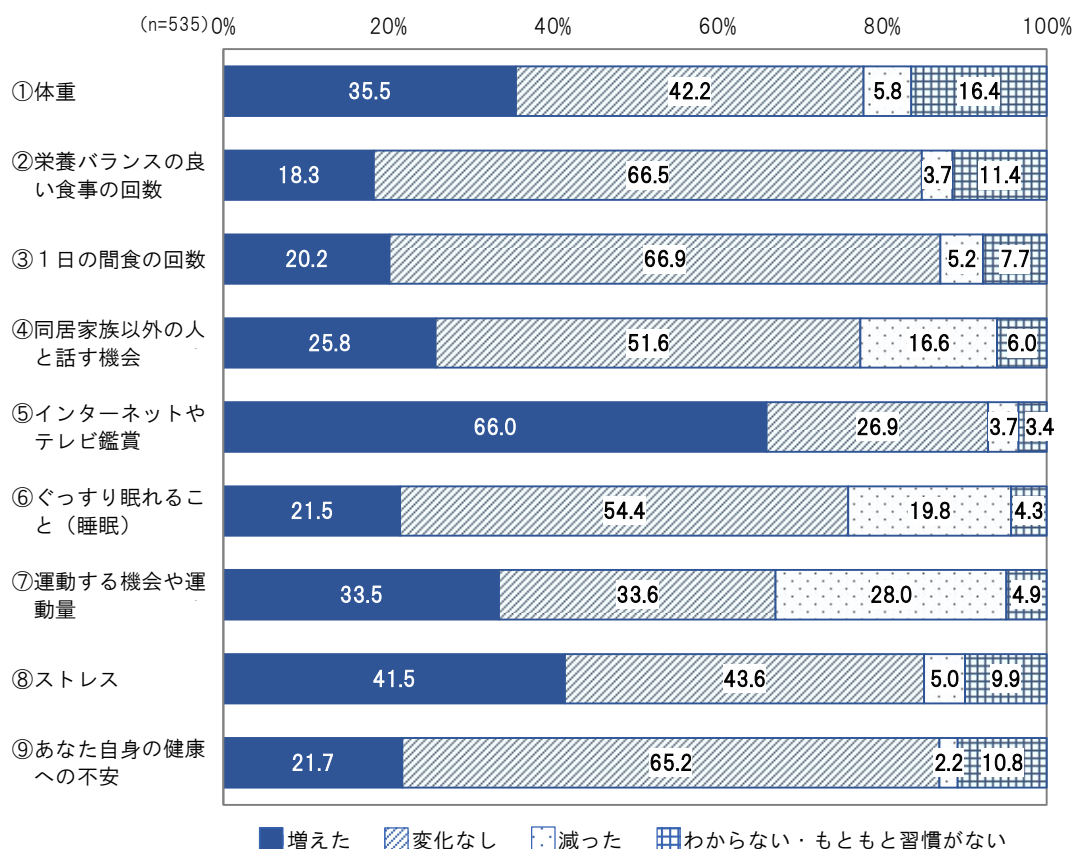
(1) 新型コロナウイルス感染症による変化

中高問 45 新型コロナウイルス感染症が流行し始めたころ（2020年2月頃）と現在を比べて、あなたの生活や健康に関する行動や体調等に変化はありましたか。

（①～⑩の項目ごとに、○はそれぞれ1つずつ）

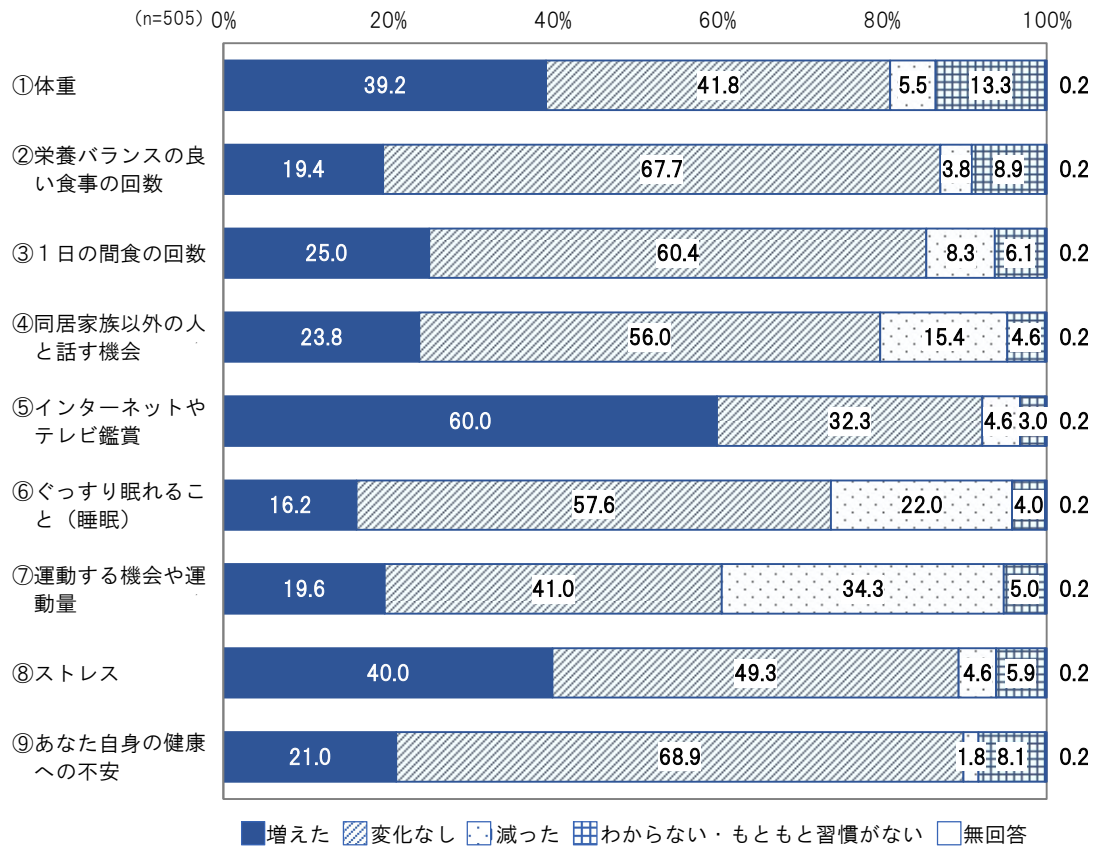
① 中学1年生

- 中学1年生の新型コロナウイルス感染症による変化について、「増えた」の割合では、“⑤インターネットやテレビ鑑賞”が66.0%と最も高く、次いで“⑧ストレス”（41.5%）、“①体重”（35.5%）、“⑦運動する機会や運動量”（33.5%）の順となっている。
- 「減った」の割合では、“⑦運動する機会や運動量”が28.0%と3割近くを占めて最も高く、次いで“⑥ぐっすり眠れること（睡眠）”（19.8%）、“④同居家族以外の人と話す機会”（16.6%）の順となっている。



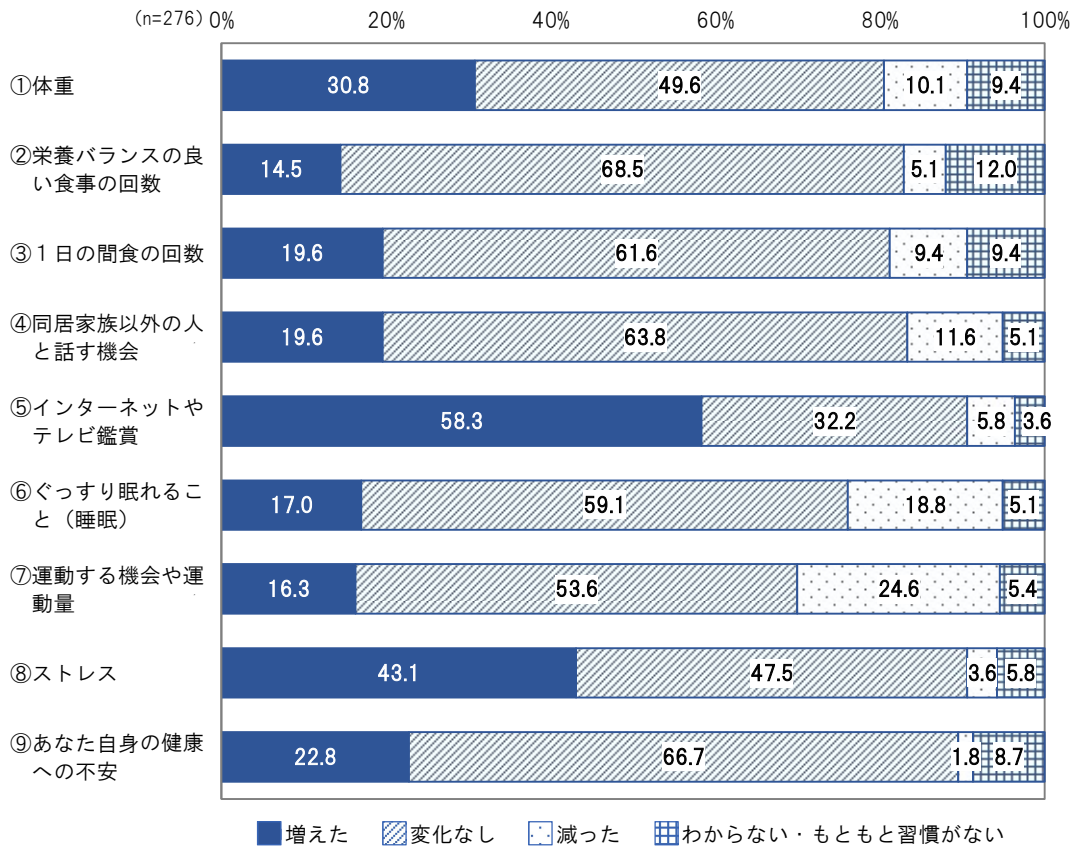
② 中学3年生

- 中学3年生の新型コロナウイルス感染症による変化について、「増えた」の割合では、“⑤インターネットやテレビ鑑賞”が60.0%と最も高く、次いで“⑧ストレス”（40.0%）、“①体重”（39.2%）、“③1日の間食の回数”（25.0%）の順となっている。
- 「減った」の割合では、“⑦運動する機会や運動量”が34.3%と3割を超えて最も高く、次いで“⑥ぐっすり眠れること”（22.0%）、“④同居家族以外の人と話す機会”（15.4%）の順となっている。



③ 高校3年生

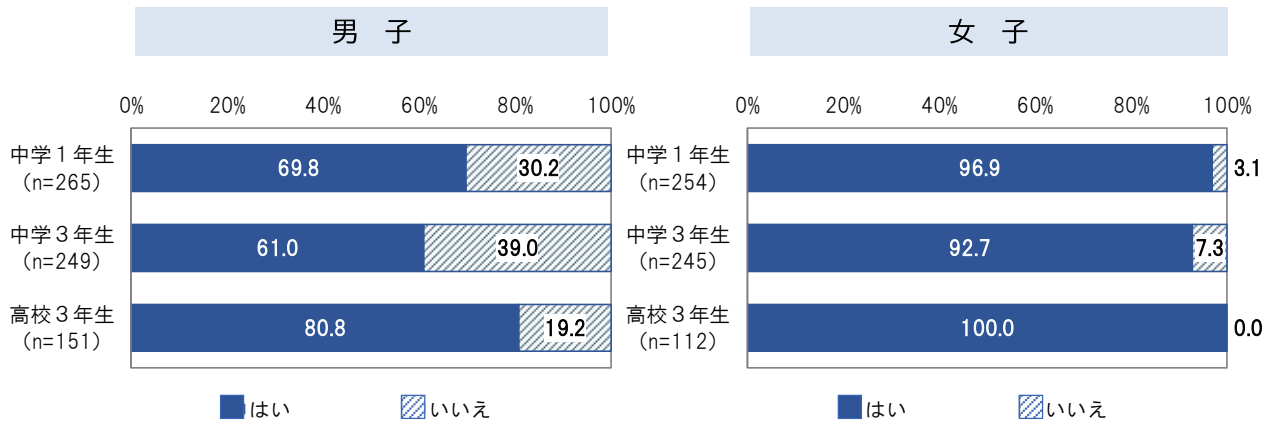
- 高校3年生の新型コロナウイルス感染症による変化について、「増えた」の割合では、“⑤インターネットやテレビ鑑賞”が58.3%と最も高く、次いで“⑧ストレス”（43.1%）、“①体重”（30.8%）、“⑨あなた自身の健康への不安”（22.8%）の順となっている。
- 「減った」の割合では、“⑦運動する機会や運動量”が24.6%と2割を超えて最も高く、次いで“⑥ぐっすり眠れること”（18.8%）、“④同居家族以外の人と話す機会”（11.6%）の順となっている。



(2) マタニティマークの認知度

中高問 46 マタニティマークを知っていますか。(○は1つだけ)

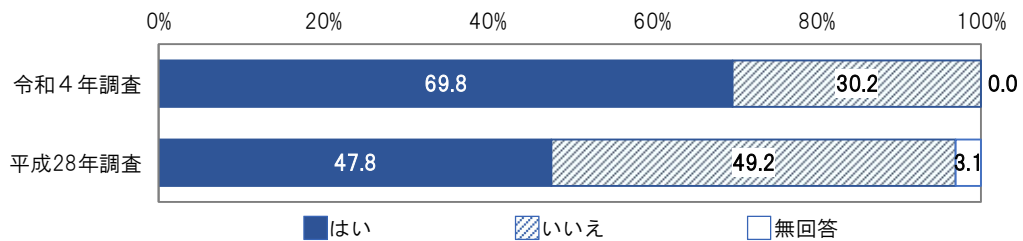
- マタニティマークの認知度は、すべての学年で男子・女子ともに「はい（知っている）」が大半を占めているものの、すべての学年で女子が男子を上回る認知度となっており、特に高校3年生の女子では100%を占めて高くなっている。
- また、中学3年生の男子では「いいえ（知らない）」が39.0%と約4割を占め、その他の学年に比べて高くなっている。



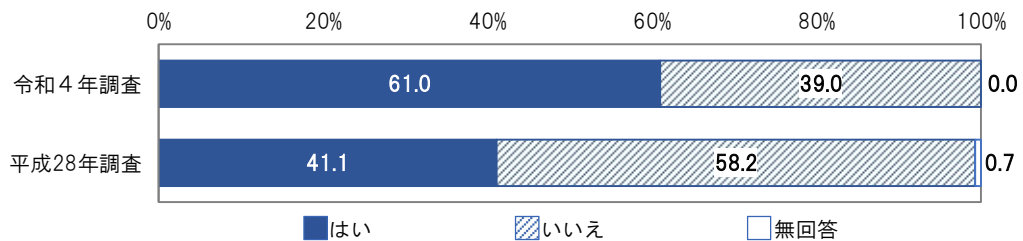
《経年比較：男子》

- 平成28年調査と比較すると、男子ではすべての学年で「はい（知っている）」が増えており、特に中学1年生では20ポイント以上増加している。

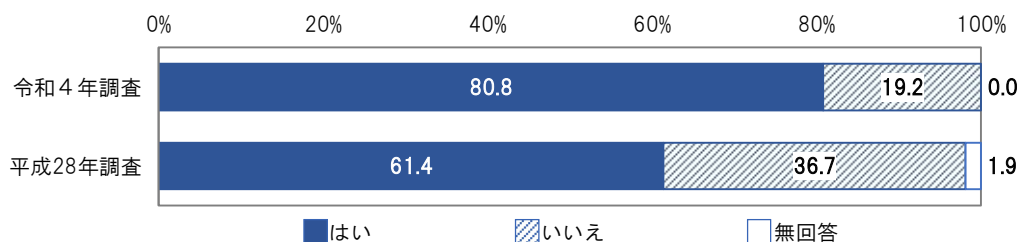
中学1年生



中学3年生



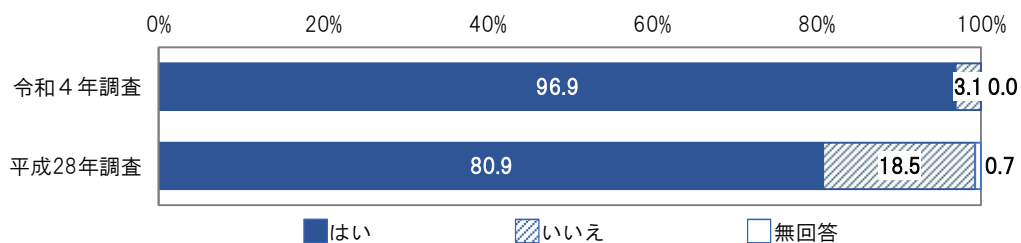
高校3年生



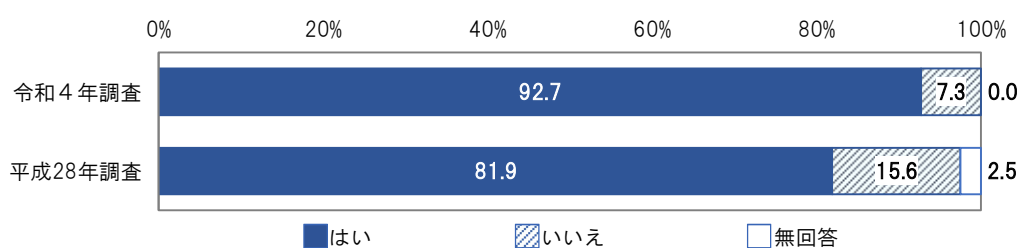
《経年比較：女子》

- 平成 28 年調査と比較すると、女子ではすべての学年で「はい（知っている）」が増えており、すべての学年で 10 ポイント以上増加している。

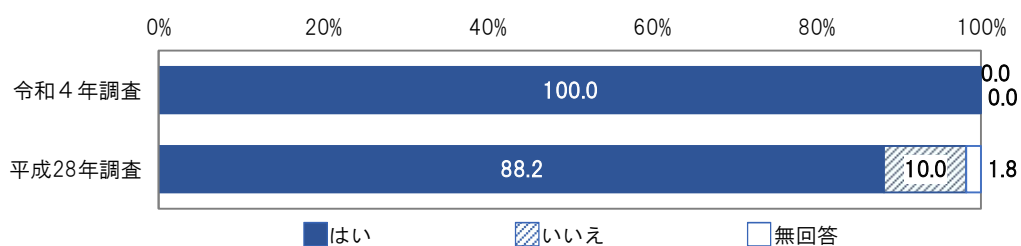
中学 1 年生



中学 3 年生



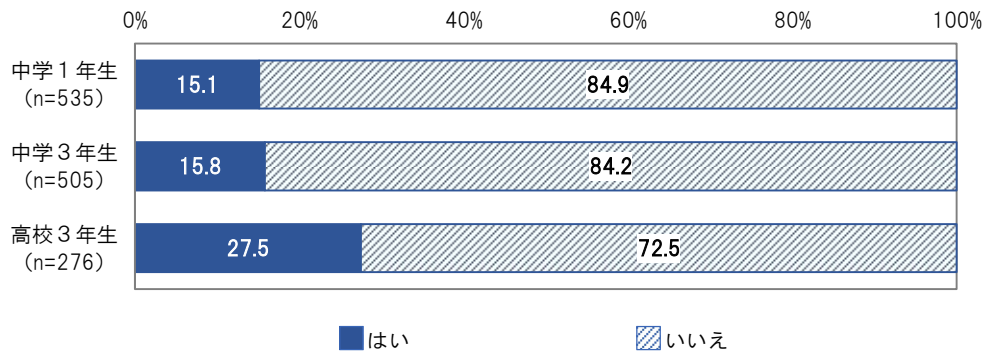
高校 3 年生



(3) アスベストばく露による健康影響の可能性の認知度

中高問 47 アスベスト(石綿)を吸い込んで長期間(10~50年程度)経過した後、深刻な健康被害を受ける可能性があることを知っていますか。(○は1つだけ)

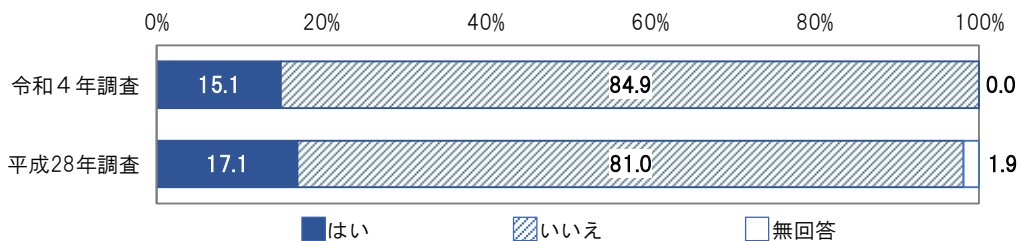
- アスベストばく露による健康影響の可能性の認知度は、すべての学年で「いいえ(知らない)」が大半を占め、特に中学1年生・中学3年生では8割を超えている。
- また、「はい(知っている)」は学年が上がるにつれて高くなっており、高校3年生では3割近くを占めている。



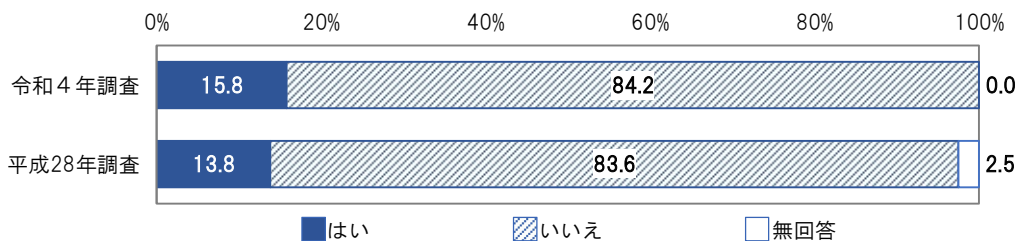
《経年比較》

- 平成28年調査と比較すると、中学3年生では「はい(知っている)」がやや増えているものの、中学1年生・中学3年生では大きな差異はみられない。
- 一方で、高校3年生では「はい(知っている)」が42.6%から27.5%と、10ポイント以上減少している。

中学1年生



中学3年生



高校3年生

